

当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |                                                                                                                                                                   |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類   | 追加型投信／国内／株式                                                                                                                                                       |
| 信託期間   | 無期限（2000年9月28日設定）                                                                                                                                                 |
| 運用方針   | 投資信託証券へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。                                                                                                                       |
| 主要運用対象 | 「三菱ＵＦＪ国際 日本株・スター・ファンド（適格機関投資家用）」、「フィデリティ・日本株ファンド（適格機関投資家用）」、「キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド（適格機関投資家用）」、「ＧＩＭザ・ジャパン（適格機関投資家用）」、「三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）」を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | 株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産（組入投資信託証券における外貨建資産の組入相当額を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。                                                            |
| 分配方針   | 経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。                                                   |

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。  
 （注）当運用報告書の本文におきましては、上記の投資信託証券の名称について「（適格機関投資家用）」の表記を省略させていただきます。

## 運用報告書（全体版）

# ファンド・オブ・オールスター・ファンズ

第37期（決算日：2019年3月27日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ファンド・オブ・オールスター・ファンズ」は、去る3月27日に第37期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期           | 基 準 価 額 |         |           | ( 参 考 株 指 数 指 数 ) |           | 投 資 信 託 組 入 比 率 | 純 資 産 額 |
|-----------------|---------|---------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|---------|
|                 | (分配落)   | 税 分 配 金 | 期 騰 落 中 率 | ( T O P I X )     | 期 騰 落 中 率 |                 |         |
|                 | 円       | 円       | %         |                   | %         | %               | 百万円     |
| 33期(2017年3月27日) | 10,712  | 700     | 15.7      | 1,543.92          | 15.6      | 95.8            | 8,052   |
| 34期(2017年9月27日) | 11,528  | 1,000   | 17.0      | 1,672.74          | 8.3       | 97.6            | 8,242   |
| 35期(2018年3月27日) | 12,009  | 500     | 8.5       | 1,671.32          | △ 0.1     | 93.8            | 8,329   |
| 36期(2018年9月27日) | 12,595  | 100     | 5.7       | 1,821.67          | 9.0       | 97.1            | 8,505   |
| 37期(2019年3月27日) | 10,541  | 0       | △16.3     | 1,617.94          | △11.2     | 97.3            | 6,946   |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 東証株価指数 ( T O P I X ) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。 T O P I X に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、 T O P I X の指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、 T O P I X の算出もしくは公表の方法の変更、 T O P I X の算出もしくは公表の停止または T O P I X の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券の前営業日の基準価額を基に計算されますことから、基準価額への反映に合わせて、各期末の東証株価指数 ( T O P I X ) は前営業日の値を用いております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日      | 基 準 価 額 |       | ( 参 考 株 指 数 指 数 ) | 投 資 信 託 組 入 比 率 |
|------------|---------|-------|-------------------|-----------------|
|            | 騰 落 率   | 騰 落 率 |                   |                 |
| (期 首)      | 円       | %     |                   | %               |
| 2018年9月27日 | 12,595  | —     | 1,821.67          | 97.1            |
| 9月末        | 12,388  | △ 1.6 | 1,800.11          | 96.5            |
| 10月末       | 10,588  | △15.9 | 1,611.46          | 96.5            |
| 11月末       | 11,062  | △12.2 | 1,659.47          | 97.2            |
| 12月末       | 9,607   | △23.7 | 1,501.63          | 98.1            |
| 2019年1月末   | 9,888   | △21.5 | 1,550.76          | 98.4            |
| 2月末        | 10,620  | △15.7 | 1,620.42          | 98.7            |
| (期 末)      |         |       |                   |                 |
| 2019年3月27日 | 10,541  | △16.3 | 1,617.94          | 97.3            |

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券の前営業日の基準価額を基に計算されますことから、基準価額への反映に合わせて、各月末、期首および期末の東証株価指数 ( T O P I X ) は前営業日の値を用いております。

(注) 騰落率は期首比。

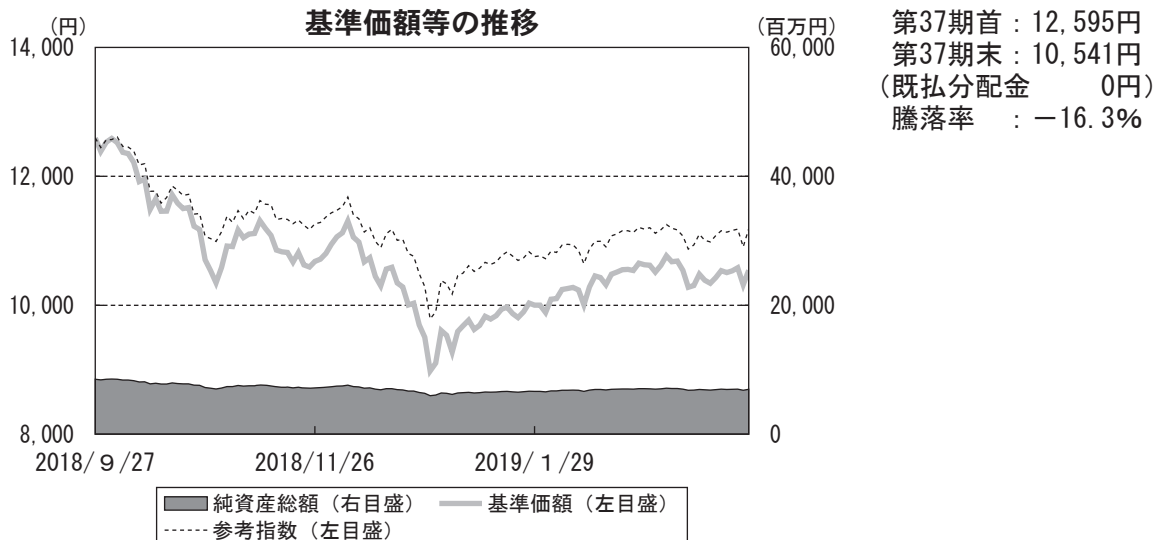
## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

(第37期：2018/9/28～2019/3/27)

#### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.3%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

#### 下落要因

組み入れを行った投資対象ファンドである「三菱UFJ国際 日本・小型株・ファンド」など、すべての投資対象ファンドの下落がマイナスに影響しました。

## 投資環境について

(第37期：2018/9/28～2019/3/27)

### ◎国内株式市況

国内株式市況（東証株価指数（TOPIX））は期首（2018年9月27日、対応するTOPIX終値は2018年9月26日）に比べて11.2%下落しました。

- ・期首から2018年12月にかけては、米中貿易摩擦問題に対する懸念や世界経済の不透明感の高まりなどを背景に下落しました。その後は、米中通商交渉の進展に対する期待などから上昇に転じました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて



期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、日本株運用で実績のある運用会社が運用を行う複数のファンドへ投資を行いました。なお、当ファンドの基準価額は各ファンドの前営業日の基準価額をもとに計算されるため、当ファンドの基準価額の変動に対応する株式市況の変動も前営業日のものとなります。

### ◎組入比率

- ・当期のパフォーマンスを投資対象ファンド別にみると、すべてのファンドが株式市況の下落を受けて下落しました。なお各ファンドへの投資比率はファンド設計に則り、原則として各投資対象ファンドの運用成果に比例した割合としました。この結果、期末時点での各ファンドの投資比率は、「三菱UFJ国際 日本株・スター・ファンド」が16.0%、「フィデリティ・日本株ファンド」が17.8%、「三菱UFJ国際 日本・小型株・ファンド」が27.1%、「キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド」が15.3%、「GIMザ・ジャパン」が21.1%となりました。

### ◎パフォーマンス要因

- ・国内株式市況が下落するなか、下落率が相対的に大きかった「三菱UFJ国際 日本・小型株・ファンド」や「GIMザ・ジャパン」が基準価額の下落に影響しました。

(ご参考) 投資信託証券別組入比率表

(%)

| 投資信託証券                      | (期首)<br>2018年<br>9月27日 | 9月末  | 10月末 | 11月末 | 12月末 | 2019年<br>1月末 | 2月末  | (期末)<br>2019年<br>3月27日 | 騰落率   | 運用会社                    |
|-----------------------------|------------------------|------|------|------|------|--------------|------|------------------------|-------|-------------------------|
| 三菱ＵＦＪ国際 日本・<br>小型株・ファンド     | 28.2                   | 28.0 | 27.3 | 27.5 | 27.3 | 27.2         | 27.7 | 27.1                   | -19.8 | 三菱ＵＦＪ国際投信               |
| 三菱ＵＦＪ国際 日本<br>株・スター・ファンド    | 15.7                   | 15.6 | 15.8 | 15.8 | 16.0 | 16.1         | 16.1 | 16.0                   | -15.3 | 三菱ＵＦＪ国際投信               |
| フィデリティ・日本株ファンド              | 17.5                   | 17.4 | 17.4 | 17.5 | 18.1 | 17.9         | 17.8 | 17.8                   | -14.8 | フィデリティ投信                |
| キャピタル・インターナ<br>ショナル日本株式ファンド | 14.7                   | 14.6 | 15.3 | 15.1 | 15.7 | 15.6         | 15.4 | 15.3                   | -13.1 | キャピタル・インターナショナル         |
| G I Mザ・ジャパン                 | 21.0                   | 20.8 | 20.6 | 21.3 | 20.9 | 21.5         | 21.7 | 21.1                   | -16.4 | J Pモルガン・アセット・<br>マネジメント |

(注) 組入比率は純資産総額に対する投資割合

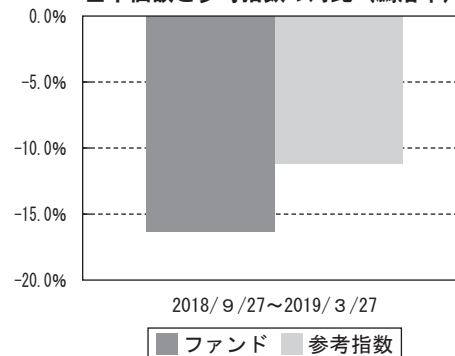
(注) 騰落率は投資対象とする投資信託証券の前営業日の期首・期末での比較

当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目        | 第37期                  |
|-----------|-----------------------|
|           | 2018年9月28日～2019年3月27日 |
| 当期分配金     | —                     |
| （対基準価額比率） | —%                    |
| 当期の収益     | —                     |
| 当期の収益以外   | —                     |
| 翌期繰越分配対象額 | 3,234                 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ◎運用環境の見通し

- ・株式市況に対して、やや上値の重い展開を想定します。貿易摩擦問題への懸念が依然として燦るなか、輸出企業の外需取り込みに苦戦を強いられることが想定されます。国内景気の減速懸念は根強く、投資家の株式市場に対する見方は慎重となることが予想されます。一方で、米連邦公開市場委員会（FOMC）が、金融政策に対してハト派姿勢を示したことなどが、今後の国内株価の下支えとなることも考えられます。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、各ファンドへの分散投資による運用を継続する方針です。
- ・各投資対象ファンドにおいては、各運用会社のファンドマネジャーが、それぞれ得意とする独自のスタイルで運用しています。これらのファンドに分散投資することで、銘柄発掘・選択効果が効率的に働き、当ファンド全体のパフォーマンス向上に繋がるものと考えています。
- ・引き続き、資金増減に伴う買い付けまたは売り付けは、直前の投資比率に基づいて行います。

# ○1万口当たりの費用明細

(2018年9月28日～2019年3月27日)

| 項 目                   | 当 期  |         | 項 目 の 概 要                                  |
|-----------------------|------|---------|--------------------------------------------|
|                       | 金 額  | 比 率     |                                            |
| (a) 信 託 報 酬           | 円    | %       | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×<br>(期中の日数÷年間日数)  |
| ( 投 信 会 社 )           | (10) | (0.096) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| ( 販 売 会 社 )           | (41) | (0.390) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価       |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 2) | (0.021) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価         |
| (b) そ の 他 費 用         | 0    | 0.001   | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数              |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 0) | (0.001) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用                |
| ( そ の 他 )             | ( 0) | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用                         |
| 合 計                   | 54   | 0.509   |                                            |
| 期中の平均基準価額は、10,627円です。 |      |         |                                            |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# ○売買及び取引の状況

(2018年9月28日～2019年3月27日)

## 投資信託証券

| 銘 柄 |                         | 買 付 |     | 売 付    |         |
|-----|-------------------------|-----|-----|--------|---------|
|     |                         | 口 数 | 金 額 | 口 数    | 金 額     |
| 国 内 | 三菱UFJ国際 日本・小型株・ファンド     | 千口  | 千円  | 千口     | 千円      |
|     | 三菱UFJ国際 日本株・スター・ファンド    | —   | —   | 26,790 | 41,000  |
|     | フィデリティ・日本株ファンド          | —   | —   | 15,978 | 24,000  |
|     | キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド | —   | —   | 16,367 | 27,000  |
|     | GIMザ・ジャパン               | —   | —   | 9,382  | 23,000  |
| 合 計 |                         | —   | —   | 9,699  | 32,000  |
|     |                         | —   | —   | 78,218 | 147,000 |

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月28日～2019年3月27日)

### 利害関係人との取引状況

| 区 分    | 買付額等<br>A | うち利害関係人<br>との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等<br>C  | うち利害関係人<br>との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
|--------|-----------|--------------------|---------------|------------|--------------------|---------------|
|        |           |                    |               |            |                    |               |
| 投資信託証券 | 百万円<br>—  | 百万円<br>—           | %<br>—        | 百万円<br>147 | 百万円<br>147         | %<br>100.0    |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月27日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘 柄                     | 期首(前期末)   | 当 期 末     |           |      |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|------|
|                         | 口 数       | 口 数       | 評 価 額     | 比 率  |
|                         | 千口        | 千口        | 千円        | %    |
| 三菱UFJ国際 日本・小型株・ファンド     | 1,260,474 | 1,233,684 | 1,885,562 | 27.1 |
| 三菱UFJ国際 日本株・スター・ファンド    | 753,154   | 737,176   | 1,109,228 | 16.0 |
| フィデリティ・日本株ファンド          | 757,279   | 740,911   | 1,238,285 | 17.8 |
| キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド | 439,294   | 429,911   | 1,060,978 | 15.3 |
| GIMザ・ジャパン               | 453,061   | 443,362   | 1,463,628 | 21.1 |
| 合 計                     | 3,663,264 | 3,585,045 | 6,757,684 | 97.3 |

(注) 比率はファンド・オブ・オールスター・ファンズの純資産総額に対する比率。

各投資信託証券の組入株式につきましては、当該項目をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月27日現在)

| 項 目          | 当 期 末     |       |
|--------------|-----------|-------|
|              | 評 価 額     | 比 率   |
|              | 千円        | %     |
| 投資信託受益証券     | 6,757,684 | 96.8  |
| コール・ローン等、その他 | 226,935   | 3.2   |
| 投資信託財産総額     | 6,984,619 | 100.0 |



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月27日現在)

| 項 目             | 当 期 末          |
|-----------------|----------------|
|                 | 円              |
| (A) 資産          | 6,984,619,751  |
| コール・ローン等        | 226,935,258    |
| 投資信託受益証券(評価額)   | 6,757,684,493  |
| (B) 負債          | 38,254,586     |
| 未払解約金           | 2,043,480      |
| 未払信託報酬          | 36,111,942     |
| 未払利息            | 390            |
| その他未払費用         | 98,774         |
| (C) 純資産総額(A－B)  | 6,946,365,165  |
| 元本              | 6,590,108,684  |
| 次期繰越損益金         | 356,256,481    |
| (D) 受益権総口数      | 6,590,108,684口 |
| 1万口当たり基準価額(C／D) | 10,541円        |

<注記事項>

- ①期首元本額 6,752,686,396円  
 期中追加設定元本額 47,212,216円  
 期中一部解約元本額 209,789,928円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0541円です。

②分配金の計算過程

| 項 目                       | 2018年9月28日～<br>2019年3月27日 |
|---------------------------|---------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額              | －円                        |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | －円                        |
| 収益調整金額                    | 308,640,714円              |
| 分配準備積立金額                  | 1,822,924,480円            |
| 当ファンドの分配対象収益額             | 2,131,565,194円            |
| 1万口当たり収益分配対象額             | 3,234円                    |
| 1万口当たり分配金額                | －円                        |
| 収益分配金金額                   | －円                        |

○損益の状況 (2018年9月28日～2019年3月27日)

| 項 目              | 当 期             |
|------------------|-----------------|
|                  | 円               |
| (A) 配当等収益        | △ 55,911        |
| 受取利息             | 196             |
| 支払利息             | △ 56,107        |
| (B) 有価証券売買損益     | △1,317,115,872  |
| 売買益              | 37,090,379      |
| 売買損              | △1,354,206,251  |
| (C) 信託報酬等        | △ 36,212,482    |
| (D) 当期損益金(A＋B＋C) | △1,353,384,265  |
| (E) 前期繰越損益金      | 1,822,851,755   |
| (F) 追加信託差損益金     | △ 113,211,009   |
| (配当等相当額)         | ( 308,640,714)  |
| (売買損益相当額)        | (△ 421,851,723) |
| (G) 計(D＋E＋F)     | 356,256,481     |
| (H) 収益分配金        | 0               |
| 次期繰越損益金(G＋H)     | 356,256,481     |
| 追加信託差損益金         | △ 113,211,009   |
| (配当等相当額)         | ( 308,640,714)  |
| (売買損益相当額)        | (△ 421,851,723) |
| 分配準備積立金          | 1,822,924,480   |
| 繰越損益金            | △1,353,456,990  |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2018年12月27日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## 三菱ＵＦＪ国際 日本株・スター・ファンド（適格機関投資家用）

### 《第37期》決算日2019年3月26日

[計算期間：2018年9月27日～2019年3月26日]

「三菱ＵＦＪ国際 日本株・スター・ファンド（適格機関投資家用）」は、第37期の決算を行いました。  
ここに、運用状況をご報告申し上げます。

運用会社：三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

|         |                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針 | 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。わが国の株式の中より、主としてＲＯＥ（自己資本利益率）、ＲＯＡ（総資本利益率）などの指標を用いた定量評価によって組入候補銘柄を抽出し、ボトムアップ・アプローチによる徹底した企業ファンダメンタルズの調査・分析（定性評価）を行ったうえで、最終的な組入銘柄を決定します。定性評価は、企業の経営資源および経営方針の両面に着目して行います。株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日               | 基 準 価 額 |       | 東 証 株 価 指 数<br>(ＴＯＰＩＸ) | 騰 落 率 | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|---------------------|---------|-------|------------------------|-------|-----------|-----------|
|                     |         | 騰 落 率 |                        |       |           |           |
| (期 首)<br>2018年9月26日 | 円       | %     |                        | %     | %         | %         |
|                     | 17,759  | —     | 1,821.67               | —     | 97.6      | —         |
| 9 月 末               | 17,723  | △ 0.2 | 1,817.25               | △ 0.2 | 97.5      | —         |
| 10 月 末              | 15,476  | △12.9 | 1,646.12               | △ 9.6 | 97.5      | —         |
| 11 月 末              | 15,610  | △12.1 | 1,667.45               | △ 8.5 | 97.4      | —         |
| 12 月 末              | 13,464  | △24.2 | 1,494.09               | △18.0 | 96.1      | —         |
| 2019年1月末            | 14,351  | △19.2 | 1,567.49               | △14.0 | 96.3      | —         |
| 2 月 末               | 14,921  | △16.0 | 1,607.66               | △11.7 | 97.4      | —         |
| (期 末)<br>2019年3月26日 | 15,047  | △15.3 | 1,617.94               | △11.2 | 98.1      | —         |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。ＴＯＰＩＸに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、ＴＯＰＩＸの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、ＴＯＰＩＸの算出もしくは公表の方法の変更、ＴＯＰＩＸの算出もしくは公表の停止またはＴＯＰＩＸの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

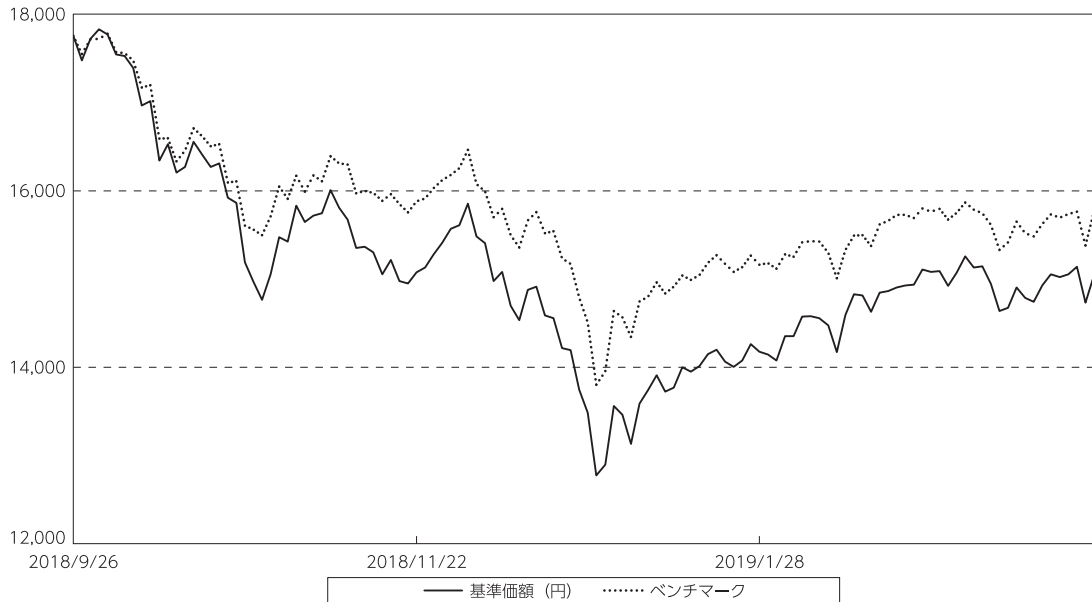
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.3%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－11.2%）を4.1%下回りました。

## 基準価額等の推移



（注）ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

### （上昇要因）

- ・ 経済環境に関して過度に悲観的な見方の後退などから国内株式市況が一時的に上昇したことや、個別銘柄の株価上昇などが基準価額の一時的な上昇要因となりました。

### （下落要因）

- ・ 世界経済や企業業績の先行きに対する懸念などから、国内株式市況が下落したことや、個別銘柄の株価下落などが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

### ◎国内株式市況

- ・ 期首から2018年12月下旬にかけては、米中間の貿易摩擦の激化に伴い世界経済や企業業績の先行きに対して投資家の懸念が強まったことなどを背景に急落しました。
- ・ 2019年1月上旬から期末にかけては、米国金利の引き上げペースが緩やかになる可能性や、中

国の景気対策に対する期待などから、それまでの過度に悲観的な見方がやや後退し、回復基調を辿りました。

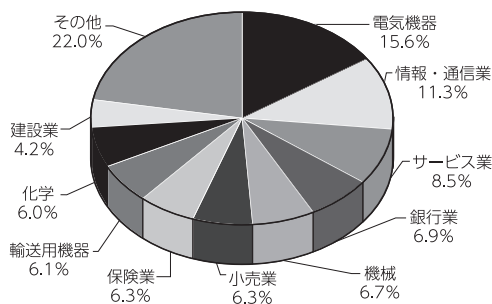
## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 銘柄選択にあたっては、主として自己資本利益率（ROE）、総資本利益率（ROA）などの指標を用いた定量評価によって組入候補銘柄を抽出し、ボトムアップ・アプローチによる徹底した企業ファンダメンタルズ調査・分析（定性評価）を行ったうえで、競争力の有無や収益力向上などの取り組みを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に選別しました。
- ・ 組入銘柄数は概ね75～89銘柄程度で推移させました。株価水準や業績動向などを勘案して村田製作所やファンケルなど18銘柄を新規に組入れました。一方、出光興産やサイバーエージェントなど26銘柄を全株売却しました。

### （ご参考）

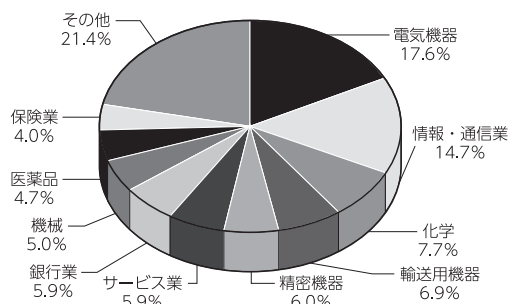
#### 組入上位10業種

期首（2018年9月26日）



（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

期末（2019年3月26日）



●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－11.2%）を4.1%下回りました。

・個別銘柄選択の結果として、陸運業をベンチマーク比アンダーウェイトとしていたことなどがマイナスに影響し、業種配分効果はマイナスとなりました。また、銘柄選択効果についても五洋建設などの影響によりマイナスとなり、トータルではベンチマークを下回りました。特に、寄与または影響が大きかった銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

#### ◎銘柄

・GMOペイメントゲートウェイ：主に電子商取引向けのクレジットカード決済処理サービスを提供しています。電子商取引（EC）市場の拡大などに伴いオンライン決済需要が増加する中で、顧客層も広く、大手優良顧客をもつ同社の今後の成長に期待し、期首から保有していました。好調な業績成長や、主力のオンライン決済だけではなく、小売店舗などにおける対面決済市場などのオフライン市場における今後の展開への期待、政府によるキャッシュレス社会の実現に向けた後押しへの期待などもあり、株価は上昇し、プラスに寄与しました。

（マイナス要因）

#### ◎銘柄

・五洋建設：海上土木に強みをもち、陸上建築や陸上土木なども手掛ける建設会社です。同社の長年における海上土木の実績や高い施工力などにより、今後の受注拡大や利益率の改善などに期待し、期首から保有していましたが、低採算案件の発生による利益率の悪化などを原因として、業績が市場期待に届かない懸念などにより株価は下落し、マイナスの影響となりました。しかし、豊富な受注残高や今後の採算改善などに期待し、引き続き保有しています。

・ZOZO：衣料品などのオンラインショッピングサイトを運営しています。ファッションEC市場の今後の成長と、同社のプライベートブランド商品などの拡大に期待し、期首から保有していました。当期においてはプライベートブランド商品が市場の期待よりも低調な売上進捗であることや、業績が市場予想に届かない懸念などにより株価は下落し、マイナスの影響となりました。しかし、保有割合は減少させたものの、同社のファッションサイトとしてのブランド力や今後のファッションEC市場の伸びなどに期待して、引き続き保有しています。

### ○今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

・当面の株式市況は、引き続き米国発の貿易摩擦懸念が残る中で、不透明要因も多く、实体经济の悪化や製造業を中心とした個別企業の業績悪化が懸念されます。しかし以下の5つの観点から、景気が全体として崩れる程の悲観シナリオは考えておらず、中期的には堅調な展開を想定しています。

①米国経済は成長が鈍化する可能性はあるものの労働市場環境が良好であり堅調に推移すると考えられること。②2019年3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、従来より慎重な金融政策対応が示唆されたことや、中国における景気刺激策の効果が徐々に発現すると期待できることなど、経済に前向きな兆候も出ていること。③グローバルにみて、IoT（Internet of Things）需要や省力化投資の需要なども引き続き強いと考えること。④国内企業の投資意欲も潜在的には高いことに加え、国内の労働市場環境も良好な状況が続いているため、徐々に消費への波及効果が期待されること。⑤日本政府も消費税率引き上げに向けて、様々な景気刺激策を策定してくると思えること。こうした投資環境から、中期的に見れば国内株式市況は堅調な展開を想定しています。

◎今後の運用方針

- ・当面の株式組入比率は、運用の基本方針通り高位を維持する方針です。
- ・当ファンドでは、基本的に企業の中長期的な成長性が高いことを重視しています。
- ・個別銘柄の選別においては、引き続き競争力の有無、収益力向上への取り組みなどを重視して

います。足下の状況を吟味しつつ、マネジメント力、バリュエーション、中長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。

## ○１万口当たりの費用明細

(2018年９月27日～2019年３月26日)

| 項 目                   | 当 期   |         | 項 目 の 概 要                                  |
|-----------------------|-------|---------|--------------------------------------------|
|                       | 金 額   | 比 率     |                                            |
| (a) 信 託 報 酬           | 円 68  | % 0.454 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×<br>(期中の日数÷年間日数)  |
| ( 投 信 会 社 )           | (64)  | (0.427) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 0 ) | (0.001) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価       |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 4 ) | (0.026) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価         |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 9     | 0.062   | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数          |
| ( 株 式 )               | ( 9 ) | (0.062) | 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料               |
| (c) そ の 他 費 用         | 0     | 0.001   | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数              |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 0 ) | (0.001) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用                |
| ( そ の 他 )             | ( 0 ) | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用                         |
| 合 計                   | 77    | 0.517   |                                            |
| 期中の平均基準価額は、15,064円です。 |       |         |                                            |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年９月27日～2019年３月26日)

## 株式

|     |    | 買 付                |                        | 売 付       |               |
|-----|----|--------------------|------------------------|-----------|---------------|
|     |    | 株 数                | 金 額                    | 株 数       | 金 額           |
| 国 内 | 上場 | 千株<br>174<br>(0.7) | 千円<br>470,631<br>( ー ) | 千株<br>190 | 千円<br>486,919 |

(注) 金額は受渡金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。



## ○株式売買比率

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期         |
|---------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額       | 957,550千円   |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 1,129,729千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.84        |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等<br>A  | うち利害関係人<br>との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等<br>C  | うち利害関係人<br>との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|------------|---------------------|---------------|------------|---------------------|---------------|
|     |            |                     |               |            |                     |               |
| 株式  | 百万円<br>470 | 百万円<br>150          | %<br>31.9     | 百万円<br>486 | 百万円<br>226          | %<br>46.5     |

## 利害関係人の発行する有価証券等

| 種 類 | 買 付 額    | 売 付 額    | 当 期 末 保 有 額 |
|-----|----------|----------|-------------|
| 株式  | 百万円<br>6 | 百万円<br>— | 百万円<br>26   |

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目              | 当 期   |
|------------------|-------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 716千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 285千円 |
| (B) / (A)        | 39.8% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券、三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月26日現在)

## 国内株式

| 銘柄                     | 期首(前期末) | 当 期 末 |        |
|------------------------|---------|-------|--------|
|                        | 株 数     | 株 数   | 評 価 額  |
|                        | 千株      | 千株    | 千円     |
| <b>建設業 (3.4%)</b>      |         |       |        |
| 大成建設                   | —       | 1.6   | 8,464  |
| 熊谷組                    | 4.8     | 5.5   | 19,415 |
| 五洋建設                   | 39.3    | 18    | 9,504  |
| 日揮                     | 4       | —     | —      |
| <b>食料品 (2.0%)</b>      |         |       |        |
| ヤクルト本社                 | 1.6     | 1.4   | 10,794 |
| ニチレイ                   | —       | 4.1   | 11,135 |
| <b>繊維製品 (0.5%)</b>     |         |       |        |
| 東レ                     | —       | 7.8   | 5,708  |
| <b>化学 (7.7%)</b>       |         |       |        |
| 昭和電工                   | 3.2     | 2     | 7,610  |
| 信越化学工業                 | —       | 1.1   | 10,162 |
| 東京応化工業                 | 1.5     | 2.5   | 7,937  |
| トリケミカル研究所              | —       | 1.2   | 6,336  |
| 資生堂                    | 3.7     | 4.4   | 34,782 |
| ファンケル                  | —       | 6.4   | 18,310 |
| ポーラ・オルビスホールディングス       | 3.2     | —     | —      |
| デクセリアルズ                | 8.7     | —     | —      |
| <b>医薬品 (4.7%)</b>      |         |       |        |
| 日本新薬                   | 0.6     | 1.4   | 10,878 |
| エーザイ                   | —       | 1.2   | 7,551  |
| JCRファーマ                | 2.1     | 1.9   | 12,160 |
| 第一三共                   | 2       | 4.8   | 21,369 |
| ペプチドリーム                | 3.2     | —     | —      |
| <b>石油・石炭製品 (—%)</b>    |         |       |        |
| 出光興産                   | 4       | —     | —      |
| <b>ガラス・土石製品 (1.1%)</b> |         |       |        |
| 東海カーボン                 | 14      | 8.3   | 11,387 |
| <b>鉄鋼 (—%)</b>         |         |       |        |
| 日立金属                   | 8       | —     | —      |
| <b>非鉄金属 (1.0%)</b>     |         |       |        |
| 三井金属鉱業                 | 0.5     | 3.7   | 10,715 |
| 古河電気工業                 | 0.8     | —     | —      |
| <b>機械 (5.0%)</b>       |         |       |        |
| 日本製鋼所                  | 3.9     | —     | —      |
| F U J I                | —       | 5     | 7,565  |
| 島精機製作所                 | 3.4     | —     | —      |
| SMC                    | 0.3     | 0.4   | 16,740 |
| 小松製作所                  | 11.3    | 7.5   | 19,522 |
| ダイフク                   | 1.7     | 2     | 11,460 |

| 銘柄                    | 期首(前期末) | 当 期 末 |        |
|-----------------------|---------|-------|--------|
|                       | 株 数     | 株 数   | 評 価 額  |
|                       | 千株      | 千株    | 千円     |
| <b>電気機器 (17.7%)</b>   |         |       |        |
| 日立製作所                 | 3.6     | 3.6   | 12,844 |
| 安川電機                  | 2.7     | 2.7   | 9,288  |
| 日本電産                  | 2.1     | 1.9   | 26,163 |
| アンリツ                  | 7.3     | 6.3   | 12,965 |
| ソニー                   | 4.2     | 1.1   | 5,245  |
| TDK                   | 1.2     | 1.4   | 12,180 |
| 横河電機                  | 4       | 5.3   | 11,951 |
| キーエンス                 | 0.5     | 0.4   | 28,040 |
| シスメックス                | 0.4     | —     | —      |
| ローム                   | 0.7     | 0.7   | 4,851  |
| 太陽誘電                  | 3.8     | 6.1   | 13,090 |
| 村田製作所                 | —       | 1.2   | 19,662 |
| 日本ケミコン                | 0.6     | —     | —      |
| K O A                 | 4.3     | —     | —      |
| 小糸製作所                 | —       | 2.4   | 15,264 |
| 東京エレクトロン              | 1       | 1.4   | 22,883 |
| <b>輸送用機器 (6.9%)</b>   |         |       |        |
| デンソー                  | 1.7     | 2     | 8,956  |
| いすゞ自動車                | —       | 3.5   | 5,239  |
| トヨタ自動車                | 7       | 6.9   | 46,644 |
| スズキ                   | 3.3     | 2     | 10,126 |
| シマノ                   | —       | 0.3   | 5,175  |
| <b>精密機器 (6.0%)</b>    |         |       |        |
| テルモ                   | 1.1     | 1.7   | 11,731 |
| 島津製作所                 | —       | 5.2   | 15,912 |
| オリンパス                 | —       | 1.1   | 5,285  |
| H O Y A               | 0.6     | 1.9   | 14,025 |
| 朝日インテック               | 4.2     | 3.8   | 19,494 |
| <b>その他製品 (2.0%)</b>   |         |       |        |
| MTG                   | 0.6     | —     | —      |
| 任天堂                   | 1.1     | 0.7   | 22,330 |
| <b>陸運業 (3.8%)</b>     |         |       |        |
| 東海旅客鉄道                | —       | 0.5   | 12,882 |
| セイノーホールディングス          | —       | 7.1   | 11,019 |
| 日立物流                  | 2.6     | —     | —      |
| 丸和運輸機関                | 1.7     | 1.7   | 6,664  |
| S G ホールディングス          | 3.4     | 3.4   | 11,118 |
| <b>情報・通信業 (14.7%)</b> |         |       |        |
| 夢の街創造委員会              | 2.6     | 4.5   | 9,036  |
| T I S                 | 1.2     | 3.5   | 17,885 |

| 銘柄                   | 期首(前期末) | 当 期 末 |        |
|----------------------|---------|-------|--------|
|                      | 株 数     | 株 数   | 評 価 額  |
|                      | 千株      | 千株    | 千円     |
| アイスタイル               | 5.1     | 5.1   | 4,335  |
| GMOペイメントゲートウェイ       | 1.6     | 3.2   | 24,800 |
| オープンドア               | 2.5     | 3.4   | 11,186 |
| L I N E              | 0.5     | —     | —      |
| ヤフー                  | 42.7    | 69.8  | 19,334 |
| 日本ユニシス               | 4.9     | 6.3   | 17,721 |
| エス・ティ・ティ・データ         | 9.7     | —     | —      |
| スクウェア・エニックス・ホールディングス | 1.3     | 3.4   | 13,345 |
| ソフトバンクグループ           | 4.7     | 4.2   | 44,583 |
| <b>卸売業 (2.8%)</b>    |         |       |        |
| 丸紅                   | —       | 6.1   | 4,910  |
| 三菱商事                 | 8.3     | 7.8   | 25,365 |
| <b>小売業 (2.4%)</b>    |         |       |        |
| アスクル                 | 2.2     | —     | —      |
| Z O Z O              | 6.2     | 1.4   | 2,842  |
| 良品計画                 | 0.5     | —     | —      |
| バン・パンフィック・インターナショナルホ | 1.8     | 1.8   | 13,086 |
| 日本瓦斯                 | 0.5     | —     | —      |
| ニトリホールディングス          | 0.4     | 0.4   | 5,588  |
| ファーストリテイリング          | 0.3     | 0.1   | 5,276  |
| <b>銀行業 (5.9%)</b>    |         |       |        |
| 三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ    | 37.1    | 46.7  | 26,226 |
| 三井住友フィナンシャルグループ      | 7.6     | 6.1   | 24,430 |
| ふくおかフィナンシャルグループ      | 9.4     | 5.5   | 13,810 |
| <b>保険業 (4.0%)</b>    |         |       |        |
| ソニーフィナンシャルホールディングス   | 14.4    | 7.7   | 16,146 |

| 銘柄                  | 期首(前期末)   | 当 期 末 |           |
|---------------------|-----------|-------|-----------|
|                     | 株 数       | 株 数   | 評 価 額     |
|                     | 千株        | 千株    | 千円        |
| 第一生命ホールディングス        | 6.8       | 3     | 4,789     |
| 東京海上ホールディングス        | 3.3       | 4.3   | 23,486    |
| T & Dホールディングス       | 6.2       | —     | —         |
| <b>不動産業 (2.5%)</b>  |           |       |           |
| パーク２４               | 2.6       | —     | —         |
| 三井不動産               | —         | 5.3   | 15,057    |
| 東京建物                | 12.7      | 9.1   | 12,530    |
| <b>サービス業 (5.9%)</b> |           |       |           |
| ＵＴグループ              | 1         | —     | —         |
| エムスリー               | 8.4       | 11.1  | 20,412    |
| アウトソーシング            | 13.9      | 18.6  | 24,570    |
| アスカネット              | 4.9       | 9.1   | 11,466    |
| R I Z A Pグループ       | 7         | —     | —         |
| 電通                  | 2.8       | —     | —         |
| ラウンドワン              | 5         | —     | —         |
| サイバーエージェント          | 2.9       | —     | —         |
| イトクロ                | 0.7       | 1.4   | 4,375     |
| グレイステクノロジー          | 1         | 1     | 2,064     |
| エイチ・アイ・エス           | 0.6       | 0.6   | 2,418     |
| 合 計                 | 株 数 ・ 金 額 | 434   | 419       |
|                     | 銘柄数<比率>   | 87    | 79        |
|                     |           |       | 1,101,621 |
|                     |           |       | <98.1%>   |

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月26日現在)

| 項 目          | 当 期 末     |       |
|--------------|-----------|-------|
|              | 評 価 額     | 比 率   |
|              | 千円        | %     |
| 株式           | 1,101,621 | 96.1  |
| コール・ローン等、その他 | 45,220    | 3.9   |
| 投資信託財産総額     | 1,146,841 | 100.0 |

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年3月26日現在）

| 項 目             | 当 期 末         |
|-----------------|---------------|
|                 | 円             |
| (A) 資産          | 1,146,841,148 |
| コール・ローン等        | 25,425,126    |
| 株式(評価額)         | 1,101,621,940 |
| 未収入金            | 18,269,832    |
| 未収配当金           | 1,524,250     |
| (B) 負債          | 23,745,734    |
| 未払金             | 18,518,423    |
| 未払信託報酬          | 5,211,388     |
| 未払利息            | 46            |
| その他未払費用         | 15,877        |
| (C) 純資産総額(A－B)  | 1,123,095,414 |
| 元本              | 746,396,221   |
| 次期繰越損益金         | 376,699,193   |
| (D) 受益権総口数      | 746,396,221口  |
| 1万口当たり基準価額(C／D) | 15,047円       |

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額 762,715,098円  
 期中追加設定元本額 2,261,082円  
 期中一部解約元本額 18,579,959円  
 また、1口当たり純資産額は、期末15,047円です。

## ○損益の状況（2018年9月27日～2019年3月26日）

| 項 目              | 当 期            |
|------------------|----------------|
|                  | 円              |
| (A) 配当等収益        | 2,110,551      |
| 受取配当金            | 2,120,950      |
| 受取利息             | 20             |
| その他収益金           | 215            |
| 支払利息             | △ 10,634       |
| (B) 有価証券売買損益     | △198,589,286   |
| 売買益              | 33,388,730     |
| 売買損              | △231,978,016   |
| (C) 信託報酬等        | △ 5,227,651    |
| (D) 当期損益金(A＋B＋C) | △201,706,386   |
| (E) 前期繰越損益金      | 571,808,353    |
| (F) 追加信託差損益金     | 6,597,226      |
| (配当等相当額)         | ( 125,487,160) |
| (売買損益相当額)        | (△118,889,934) |
| (G) 計(D＋E＋F)     | 376,699,193    |
| 次期繰越損益金(G)       | 376,699,193    |
| 追加信託差損益金         | 6,597,226      |
| (配当等相当額)         | ( 125,487,160) |
| (売買損益相当額)        | (△118,889,934) |
| 分配準備積立金          | 571,808,353    |
| 繰越損益金            | △201,706,386   |

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2018年12月27日)

# フィデリティ・日本株ファンド（適格機関投資家用）

## 《第37期》決算日2019年3月26日

[計算期間：2018年9月27日～2019年3月26日]

「フィデリティ・日本株ファンド（適格機関投資家用）」は、第37期の決算を行いました。  
ここに、運用状況をご報告申し上げます。

運用会社：フィデリティ投信株式会社

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針 | 個別企業分析により成長企業（市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される企業）を選定し、利益等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。個別企業分析にあたっては、日本および世界主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かします。ポートフォリオ・マネジャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。東証株価指数（TOPIX）をベンチマークとし、長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日               | 基 準 価 額     | 騰 落 率  | 東 証 株 価 指 数<br>(TOPIX) | 騰 落 率  | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|---------------------|-------------|--------|------------------------|--------|-----------|-----------|
|                     |             |        |                        |        |           |           |
| (期 首)<br>2018年9月26日 | 円<br>19,612 | %<br>— | 1,821.67               | %<br>— | %<br>99.0 | %<br>—    |
| 9 月 末               | 19,559      | △ 0.3  | 1,817.25               | △ 0.2  | 99.3      | —         |
| 10 月 末              | 16,871      | △14.0  | 1,646.12               | △ 9.6  | 98.5      | —         |
| 11 月 末              | 17,249      | △12.0  | 1,667.45               | △ 8.5  | 98.8      | —         |
| 12 月 末              | 15,193      | △22.5  | 1,494.09               | △18.0  | 99.0      | —         |
| 2019年1月末            | 15,797      | △19.5  | 1,567.49               | △14.0  | 99.6      | —         |
| 2 月 末               | 16,443      | △16.2  | 1,607.66               | △11.7  | 99.5      | —         |
| (期 末)<br>2019年3月26日 | 16,713      | △14.8  | 1,617.94               | △11.2  | 99.0      | —         |

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

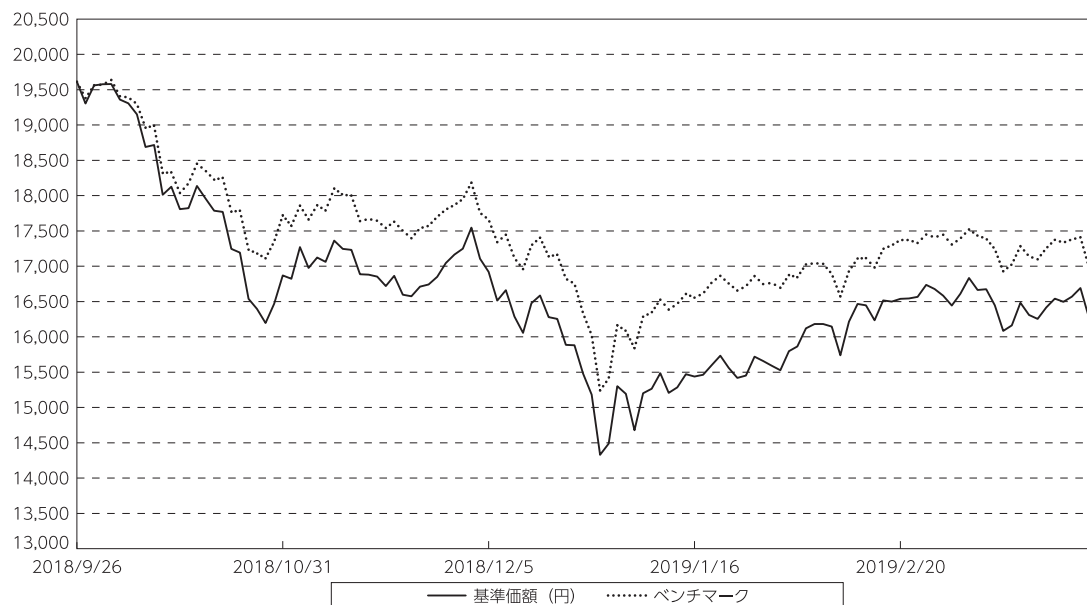
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ14.8%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－11.2%）を3.6%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

当ファンドは国内株式を主要投資対象としているため、国内株式市場全体が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

国内株式市場全体が下落したことや、組み入れを行った個別銘柄の株価下落が市場全体を下回ったことが、基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

日本株は、米国発の通商問題に対する過度な警戒感が後退する中、10月初旬に日経平均株価が約27年ぶりとなる高値を回復して始まりました。その後は米中貿易戦争の影響による実体経済の悪化が徐々に明らかとなる中で、米国株と共に年末にかけて大幅下落を強いられましたが、米中貿易協議の進展に向けた期待や米連邦準備制度理事会による金融引き締め路線の修正などを支えに、年明け以降は回復基調を辿って期を終えました。

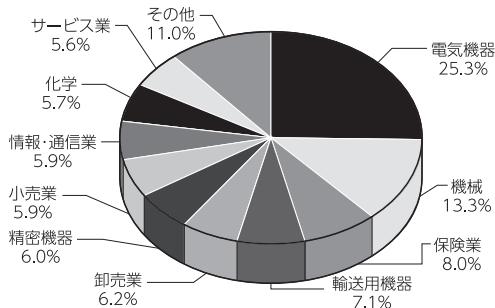
## ●当該投資信託のポートフォリオについて

市場予測を超える収益成長の可能性、優れた経営陣の存在、相対的に魅力のあるバリュエーションの3点を基準として、個別銘柄選択を重視したポートフォリオの運用を行いました。組入銘柄数は概ね80～90銘柄程度で推移させました。業界環境、競争優位性、経営姿勢などの分析を基に予測される収益成長力と比較してバリュエーションが割安であると判断したSMC、パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスなどを新規に組み入れる一方、逆に割高と判断した第一生命ホールディングス、ソニーなどを一部売却しました。

### (ご参考)

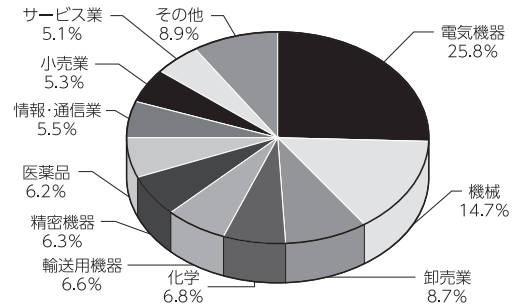
#### 組入上位10業種

期首 (2018年9月26日)



(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

期末 (2019年3月26日)



- 当該投資信託のベンチマークとの差異について  
当期の当ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率の－11.2%を下回りました。

主なプラス要因については以下の通りです。

- ・個別銘柄選択では、キーエンス、パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、日本新薬の組入比率をベンチマークに比べて高めとしたことなどがプラスに影響しました。
- ・業種配分では、当期中パフォーマンスが軟調に推移した銀行業、石油・石炭製品の組入比率をベンチマークに比べて低めとしたことや、逆にパフォーマンスが堅調に推移した精密機器の組入比率をベンチマークに比べて高めとしたことなどがプラスに影響しました。

主なマイナス要因については以下の通りです。

- ・個別銘柄選択では、マキタ、第一生命ホールディングス、TDKの組入比率をベンチマークに比べて高めとしたことなどがマイナスに影響しました。
- ・業種配分では、当期中パフォーマンスが堅調に推移した陸運業の組入比率をベンチマークに比べて低めとしたこと、逆にパフォーマンスが軟調に推移した機械、保険業の組入比率をベンチマークに比べて高めとしたことなどがマイナスに影響しました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・底堅く推移する世界景気と企業統治改革による収益力向上を背景とした安定的な企業業績が、日本株の中期的な上昇基調を支えるとの見方をメインシナリオに考えています。足元における企業業績の調整は比較的短期間にて終息すると見ており、現状の株価バリュエーションにはまだ割安感が残されています。但し、貿易摩擦問題を始めとして外部環境には不透明な要素が多く、先行きへの警戒感が相場の上値を抑えると同時に、短期的な変動性を高くする可能性があります。

### ◎今後の運用方針

- ・持続性のある競争優位性を持ち、市場予測を超えるような収益成長が見込まれる銘柄を見出すことで、中長期的な運用成果を追求していく方針です。
- ・ボトム・アップ・アプローチによる徹底的な調査・分析に基づいて、個別企業の事業機会や競争力を見極めていきますが、加えて重要なのが、バリュー・チェーン全体に渡る情報収集だと考えています。その企業が取り扱う製品について、競合企業の業況と比較すると共に、調達する原材料の動きは川上まで遡って確認し、販売状況は川下の最終製品まで広げて追いかけます。幅広い角度から情報を分析することで、企業の競争力が鮮明になると同時に、事業環境における変化の兆しを逸早くつかむことが可能となります。
- ・地道な調査分析を通じて、企業を取り巻く環境、そして企業自身のファンダメンタルズに日々生じている変化に細心の目配りをしながら、中長期的な運用成果を追求していきます。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月27日～2019年3月26日)

| 項 目                   | 当 期     |            | 項 目 の 概 要                                                                           |
|-----------------------|---------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | 金 額     | 比 率        |                                                                                     |
| (a) 信 託 報 酬           | 円<br>76 | %<br>0.455 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率                                                            |
| ( 投 信 会 社 )           | (71)    | (0.428)    | 委託した資金の運用の対価                                                                        |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 0 )   | (0.000)    | 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの<br>管理及び事務手続き等の対価                                |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 4 )   | (0.026)    | 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価                                                          |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 4       | 0.025      | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料               |
| ( 株 式 )               | ( 4 )   | (0.025)    |                                                                                     |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税     | —       | —          | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金                |
| (d) そ の 他 費 用         | 4       | 0.027      | (d) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数                                                       |
| ( 保 管 費 用 )           | ( 0 )   | (0.000)    | 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外<br>における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。          |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 4 )   | (0.027)    | 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用                                                           |
| ( そ の 他 )             | —       | —          | その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、<br>印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま<br>れます。 |
| 合 計                   | 84      | 0.507      |                                                                                     |
| 期中の平均基準価額は、16,628円です。 |         |            |                                                                                     |

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2018年9月27日～2019年3月26日)

### 株式

|    |    | 買 付   |         | 売 付   |         |
|----|----|-------|---------|-------|---------|
|    |    | 株 数   | 金 額     | 株 数   | 金 額     |
| 国内 | 上場 | 千株    | 千円      | 千株    | 千円      |
|    |    | 100.6 | 405,237 | 127.8 | 434,586 |

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2018年9月27日～2019年3月26日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期         |
|---------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額       | 839,824千円   |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 1,282,274千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.65        |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月27日～2019年3月26日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年3月26日現在)

国内株式

上場株式

| 銘柄                  | 期首(前期末) | 当 期 末 |        |
|---------------------|---------|-------|--------|
|                     | 株 数     | 株 数   | 評 価 額  |
|                     | 千株      | 千株    | 千円     |
| <b>水産・農林業(0.3%)</b> |         |       |        |
| サカタのタネ              | 1       | 1     | 3,840  |
| <b>建設業(1.1%)</b>    |         |       |        |
| ショーバンドホールディングス      | 0.8     | 0.8   | 6,000  |
| 五洋建設                | 8.8     | 10.2  | 5,385  |
| ライト工業               | —       | 0.8   | 1,187  |
| 東芝プラントシステム          | 0.6     | 0.6   | 1,200  |
| <b>食料品(—)</b>       |         |       |        |
| 日本たばこ産業             | 4.7     | —     | —      |
| <b>化学(6.8%)</b>     |         |       |        |
| デンカ                 | 4.2     | 4.8   | 15,552 |
| 信越化学工業              | 0.1     | —     | —      |
| エア・ウォーター            | 3.7     | 2.9   | 4,790  |
| 住友ベークライト            | 0.2     | 2.5   | 10,212 |
| 扶桑化学工業              | 0.7     | 0.7   | 1,311  |
| 花王                  | 3.4     | 3.3   | 28,769 |
| 関西ペイント              | —       | 3.6   | 7,858  |
| コーセー                | 0.6     | 0.3   | 5,877  |
| ニフコ                 | 4.3     | 3.4   | 9,622  |
| <b>医薬品(6.2%)</b>    |         |       |        |
| 武田薬品工業              | —       | 3.8   | 17,898 |
| 塩野義製薬               | 0.6     | 0.3   | 2,022  |
| 日本新薬                | 3.3     | 3.7   | 28,749 |
| 参天製薬                | 14.1    | 14.4  | 23,961 |
| 栄研化学                | 1.6     | 1.8   | 4,773  |
| <b>ゴム製品(0.2%)</b>   |         |       |        |
| ブリヂストン              | 1.4     | 0.5   | 2,141  |
| <b>鉄鋼(0.2%)</b>     |         |       |        |
| 大和工業                | 0.8     | 0.8   | 2,476  |
| <b>機械(14.7%)</b>    |         |       |        |
| ディスコ                | 0.8     | 1     | 15,500 |
| 島精機製作所              | 0.3     | —     | —      |
| ナブテスコ               | —       | 1.1   | 3,487  |

| 銘柄                 | 期首(前期末) | 当 期 末 |        |
|--------------------|---------|-------|--------|
|                    | 株 数     | 株 数   | 評 価 額  |
|                    | 千株      | 千株    | 千円     |
| SMC                | —       | 0.6   | 25,110 |
| 小松製作所              | 7.2     | 2.1   | 5,466  |
| クボタ                | —       | 10.5  | 16,747 |
| ダイキン工業             | 4.2     | 3.2   | 40,896 |
| ダイフク               | 2.7     | 3.7   | 21,201 |
| CKD                | —       | 0.6   | 600    |
| キトー                | 0.4     | 1.2   | 2,030  |
| アマノ                | 0.4     | —     | —      |
| セガサミーホールディングス      | 1.3     | —     | —      |
| 日本精工               | 1.1     | —     | —      |
| THK                | 0.2     | 2.1   | 5,806  |
| マキタ                | 12.4    | 12.1  | 45,617 |
| <b>電気機器(25.8%)</b> |         |       |        |
| 日立製作所              | —       | 2.7   | 9,633  |
| 日本電産               | 3.7     | 3.8   | 52,326 |
| ルネサスエレクトロニクス       | —       | 2.7   | 1,439  |
| パナソニック             | 13.3    | —     | —      |
| ソニー                | 6.1     | 0.5   | 2,384  |
| TDK                | 2       | 0.4   | 3,480  |
| 横河電機               | 17.4    | 18.6  | 41,943 |
| アズビル               | 8.8     | 8.9   | 23,237 |
| 日本光電工業             | 2.8     | 4     | 13,960 |
| キーエンス              | 1       | 1     | 70,100 |
| シスメックス             | 2.4     | 1.3   | 9,064  |
| イリソ電子工業            | 4.1     | 3.4   | 17,510 |
| スタンレー電気            | 3.1     | 3.5   | 10,570 |
| ローム                | —       | 0.9   | 6,237  |
| 浜松ホトニクス            | 5.6     | 5.1   | 21,777 |
| 村田製作所              | 0.3     | 1     | 16,385 |
| 市光工業               | 1       | 0.5   | 312    |
| 小糸製作所              | —       | 0.2   | 1,272  |
| SCREENホールディングス     | —       | 2     | 9,130  |
| 東京エレクトロン           | —       | 0.6   | 9,807  |

| 銘柄                    | 期首(前期末) | 当 期 末 |         |
|-----------------------|---------|-------|---------|
|                       | 株 数     | 株 数   | 評 価 額   |
|                       | 千株      | 千株    | 千円      |
| <b>輸送用機器 (6. 6%)</b>  |         |       |         |
| いすゞ自動車                | 5. 2    | 6. 6  | 9, 880  |
| スズキ                   | 7. 2    | 5. 1  | 25, 821 |
| ヤマハ発動機                | 6. 5    | 7. 2  | 15, 710 |
| シマノ                   | 1. 6    | 1. 8  | 31, 050 |
| <b>精密機器 (6. 3%)</b>   |         |       |         |
| 島津製作所                 | 17. 4   | 18. 4 | 56, 304 |
| H O Y A               | 1. 8    | 1. 8  | 13, 287 |
| 朝日インテック               | 3. 1    | 1. 7  | 8, 721  |
| <b>その他製品 (一)</b>      |         |       |         |
| 任天堂                   | 0. 4    | —     | —       |
| <b>陸運業 (0. 0%)</b>    |         |       |         |
| 日立物流                  | —       | 0. 1  | 335     |
| <b>情報・通信業 (5. 5%)</b> |         |       |         |
| 新日鉄住金ソリューションズ         | 3. 2    | 2. 7  | 7, 935  |
| ラクスル                  | 1. 4    | 1. 4  | 6, 552  |
| メルカリ                  | —       | 1. 3  | 4, 420  |
| オービック                 | 0. 8    | 0. 4  | 4, 484  |
| 大塚商会                  | 3. 6    | 4. 5  | 18, 022 |
| GMOインターネット            | —       | 0. 6  | 1, 088  |
| ソフトバンクグループ            | 4. 2    | 2. 4  | 25, 476 |
| <b>卸売業 (8. 7%)</b>    |         |       |         |
| シークス                  | 0. 8    | —     | —       |
| 伊藤忠商事                 | 3. 5    | 10. 6 | 22, 106 |
| 日立ハイテクノロジーズ           | 2. 2    | 4. 3  | 19, 973 |
| 阪和興業                  | 0. 4    | 0. 3  | 993     |
| トラスコ中山                | 2. 7    | 2. 7  | 8, 056  |
| ミスミグループ本社             | 21. 7   | 21. 1 | 57, 328 |
| <b>小売業 (5. 3%)</b>    |         |       |         |
| くらコーポレーション            | 1       | 1     | 5, 130  |

| 銘柄                          | 期首(前期末)   | 当 期 末  |         |
|-----------------------------|-----------|--------|---------|
|                             | 株 数       | 株 数    | 評 価 額   |
|                             | 千株        | 千株     | 千円      |
| ウエルシアホールディングス               | 0. 9      | 0. 9   | 3, 366  |
| ツルハホールディングス                 | 1. 3      | 1. 5   | 13, 755 |
| 良品計画                        | 0. 5      | —      | —       |
| パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス | 2. 5      | 2. 9   | 21, 083 |
| 丸井グループ                      | 3. 8      | 4. 8   | 10, 924 |
| イズミ                         | 1. 1      | 0. 9   | 4, 662  |
| ニトリホールディングス                 | —         | 0. 1   | 1, 397  |
| ファーストリテイリング                 | 0. 1      | 0. 1   | 5, 276  |
| <b>銀行業 (一)</b>              |           |        |         |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ           | 4. 4      | —      | —       |
| 三井住友フィナンシャルグループ             | 1. 8      | —      | —       |
| <b>保険業 (4. 5%)</b>          |           |        |         |
| 第一生命ホールディングス                | 19. 8     | 4. 5   | 7, 184  |
| 東京海上ホールディングス                | 8         | 8. 8   | 48, 065 |
| T&Dホールディングス                 | 13. 9     | 1      | 1, 166  |
| <b>その他金融業 (2. 6%)</b>       |           |        |         |
| 全国保証                        | 1. 3      | 2      | 8, 260  |
| 東京センチュリー                    | —         | 0. 5   | 2, 415  |
| オリックス                       | 15. 5     | 12. 9  | 21, 252 |
| <b>サービス業 (5. 1%)</b>        |           |        |         |
| バーソルホールディングス                | 0. 9      | —      | —       |
| リクルートホールディングス               | 20        | 17. 1  | 53, 198 |
| エイチ・アイ・エス                   | —         | 1. 1   | 4, 433  |
| 乃村工藝社                       | 1. 7      | 1. 9   | 5, 842  |
| 合 計                         | 株 数 ・ 金 額 | 343. 7 | 316. 5  |
|                             | 銘柄数<比率>   | 81     | 87      |

(注) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月26日現在)

| 項 目          | 当 期 末           |           |
|--------------|-----------------|-----------|
|              | 評 価 額           | 比 率       |
| 株 式          | 千円<br>1,241,616 | %<br>97.3 |
| コール・ローン等、その他 | 34,881          | 2.7       |
| 投資信託財産総額     | 1,276,497       | 100.0     |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月26日現在)

| 項 目            | 当 期 末         |
|----------------|---------------|
|                | 円             |
| (A) 資産         | 1,276,497,928 |
| コール・ローン等       | 10,461,521    |
| 株式(評価額)        | 1,241,616,900 |
| 未収入金           | 23,166,657    |
| 未収配当金          | 1,252,850     |
| (B) 負債         | 22,009,261    |
| 未払金            | 15,875,485    |
| 未払信託報酬         | 5,792,742     |
| その他未払費用        | 341,034       |
| (C) 純資産総額(A－B) | 1,254,488,667 |
| 元本             | 750,616,384   |
| 次期繰越損益金        | 503,872,283   |
| (D) 受益権総口数     | 750,616,384口  |
| 1万口当り基準価額(C／D) | 16,713円       |

<注記事項>

|           |              |
|-----------|--------------|
| 期首元本額     | 767,523,109円 |
| 期中追加設定元本額 | 2,361,479円   |
| 期中一部解約元本額 | 19,268,204円  |

○損益の状況 (2018年9月27日～2019年3月26日)

| 項 目              | 当 期            |
|------------------|----------------|
|                  | 円              |
| (A) 配当等収益        | 2,356,590      |
| 受取配当金            | 2,356,206      |
| その他収益金           | 384            |
| (B) 有価証券売買損益     | △212,992,940   |
| 売買益              | 32,477,677     |
| 売買損              | △245,470,617   |
| (C) 信託報酬等        | △ 6,139,253    |
| (D) 当期損益金(A＋B＋C) | △216,775,603   |
| (E) 前期繰越損益金      | 672,844,522    |
| (F) 追加信託差損益金     | 47,803,364     |
| (配当等相当額)         | ( 138,298,095) |
| (売買損益相当額)        | (△ 90,494,731) |
| (G) 合計(D＋E＋F)    | 503,872,283    |
| 次期繰越損益金(G)       | 503,872,283    |
| 追加信託差損益金         | 47,803,364     |
| (配当等相当額)         | ( 138,298,095) |
| (売買損益相当額)        | (△ 90,494,731) |
| 分配準備積立金          | 672,844,522    |
| 繰越損益金            | △216,775,603   |

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

|                      |              |
|----------------------|--------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益      | 0円           |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益  | 0円           |
| (c) 収益調整金            | 138,298,095円 |
| (d) 分配準備積立金          | 672,844,522円 |
| (e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d) | 811,142,617円 |
| (f) 1万口当たり当期分配対象額    | 10,806.35円   |
| (g) 分配金              | 0円           |
| (h) 1万口当たり分配金        | 0円           |

# キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド（適格機関投資家用）

## 《第17期》決算日2019年3月26日

[計算期間：2018年9月27日～2019年3月26日]

「キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド（適格機関投資家用）」は、第17期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

### 運用会社：キャピタル・インターナショナル株式会社

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針 | <p>主として、キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド受益証券に投資します。ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）配当込みをベンチマークとします。主としてわが国の金融商品取引所（これに準ずるものを含む）に上場されている株式等の中から、企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄の選定を行うことを基本とします。ファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選択により超過収益の獲得を目指すボトムアップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行います。信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引およびスワップ取引を行う場合があります。株式の組入比率は、高位を基本とします。市況動向等によっては株式投資の代替として転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付債券についての社債であって、当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことを予め明確にしているもの、および会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および8号の定めがある新株予約権付社債に投資する場合があります。非株式割合（株式以外の資産への投資割合）は、原則として信託財産総額の50%以下を基本とします。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p> |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日                 | 基 準    | 価 額   |          | ＴＯＰＩＸ（東証株価指数） |  | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|-----------------------|--------|-------|----------|---------------|--|-----------|-----------|
|                       |        | 騰 落 率 | 配 当 込 み  | 騰 落 率         |  |           |           |
| （期 首）<br>2018年 9 月26日 | 円      | %     |          | %             |  | %         | %         |
|                       | 28,390 | —     | 2,704.66 | —             |  | 97.7      | —         |
| 9 月末                  | 28,344 | △ 0.2 | 2,698.09 | △ 0.2         |  | 95.4      | —         |
| 10月末                  | 25,519 | △10.1 | 2,444.11 | △ 9.6         |  | 97.2      | —         |
| 11月末                  | 25,701 | △ 9.5 | 2,475.92 | △ 8.5         |  | 97.2      | —         |
| 12月末                  | 22,680 | △20.1 | 2,223.11 | △17.8         |  | 98.5      | —         |
| 2019年 1 月末            | 23,695 | △16.5 | 2,332.52 | △13.8         |  | 97.5      | —         |
| 2 月末                  | 24,449 | △13.9 | 2,393.08 | △11.5         |  | 96.8      | —         |
| （期 末）<br>2019年 3 月26日 |        |       |          |               |  |           |           |
|                       | 24,679 | △13.1 | 2,408.61 | △10.9         |  | 96.1      | —         |

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率（＝買建比率－売建比率）」は親投資信託への投資割合に応じて算出した実質比率を記載しています。

(注) ＴＯＰＩＸは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等、ＴＯＰＩＸに関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しております。株式会社東京証券取引所は、ＴＯＰＩＸの算出もしくは公表の方法の変更、算出もしくは公表の停止またはＴＯＰＩＸの商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しております。株式会社東京証券取引所は、当ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.1%の下落となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－10.9%）を下回りました。

### 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

### ●基準価額の変動要因

#### 上昇要因

世界的な景気拡大を背景とした企業業績の拡大や低金利環境の継続見通しなどにより国内株式市場が上昇し、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

米中貿易摩擦の景気や企業業績への影響に対する懸念、中国の景気減速への警戒感、ドル安円高の進行、欧州主要国における政情不安などが基準価額の下落要因となりました。



## ●投資環境について

当期の国内株式市場は下落しました。国内外の景気や企業業績の拡大、世界的な低金利環境の継続見通しなどが株価を支えましたが、米中貿易摩擦の景気や企業業績への影響を懸念する見方が強まり、2018年末にかけて下落が加速する場面が見られました。2019年初以降は、米中貿易摩擦の警戒感が緩和したことや、米国の利上げペースが緩やかになるとの見方が強まったことなどから上昇基調となったものの、通期では下落のまま期末を迎えました。

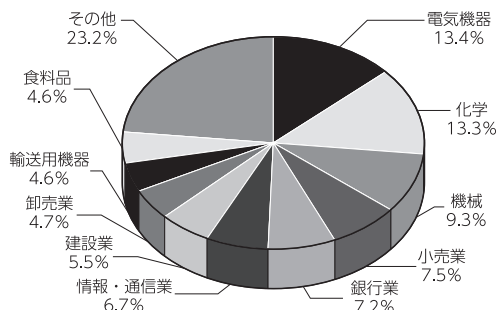
## ●当該投資信託のポートフォリオについて ＜ベビーファンド＞

当ファンドは、キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）を通じてわが国の株式に投資しています。株式の実質組入比率は、運用の基本方針にしたがい高水準を維持しました。

（ご参考）

組入上位10業種

期首（2018年9月26日）



（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

## ＜マザーファンド＞

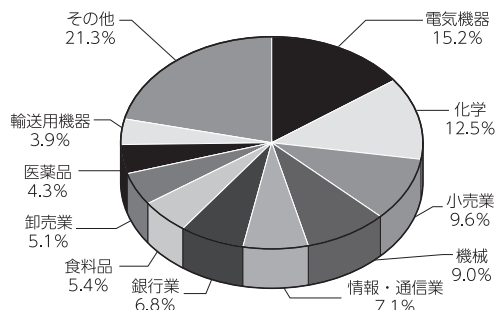
基準価額は期首に比べ12.7%の下落となりました。

マザーファンドの運用においては徹底した個別企業調査に基づき、株価が本源的価値より過小評価されていると考えられる銘柄を発掘することに注力しつつ、投資企業を厳選しました。

### ・主な投資行動と理由

個別企業調査に基づき、独自の成長テーマを有する銘柄、利益成長見通しに照らして株価に上昇余地が見込まれる銘柄、株価水準に割安さが見出される銘柄等を購入する一方で、相対的にバリュエーション面の魅力が乏しくなった銘柄、ファンダメンタルズが悪化した銘柄を売却しました。個別銘柄選択の結果、小売業や電気機器などの銘柄の組み入れ比率が上昇した一方、建設業、その他製品などの銘柄の組み入れ比率が低下しました。当期末時点の組入銘柄数は、前期末から4銘柄減少して99銘柄となりました。

期末（2019年3月26日）



●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
 <キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド（適格機関投資家用）>

基準価額は13.1%下落し、ベンチマークの  
 -10.9%を下回りました。

<キャピタル・インターナショナル・ジャパン・  
 エクイティ・マザーファンド>

基準価額は、12.7%下落し、ベンチマークの  
 10.9%の下落と比べて1.8%のアンダーパフォー  
 ムとなりました。

主なベンチマークとの差異要因

（プラス要因）

- ・現金等の保有
- ・石油・石炭製品を非保有とした業種選択
- ・情報・通信業における銘柄選択（ソフトバンクグループの保有など）

（マイナス要因）

- ・その他製品における銘柄選択（MTGの保有など）
- ・陸運業をアンダーウェイトとした業種選択
- ・輸送用機器における銘柄選択（トヨタ自動車の非保有など）

（主なプラス寄与銘柄）

- ・SMC（機械）：空圧制御機器で世界トップ水準のシェアや技術力を評価しています。中長期的な中国などでのFA（工場自動化）化投資やIoT（モノのネット化）関連電子部品増産からの恩恵にも期待しています。会社側は、中国などにおける自動化投資の減速などから業績に対する不透明感は依然強いとしています。同業他社が同分野における需要減速の一巡を示唆したことから株価が上昇しました。
- ・大和ハウス工業（建設業）：戸建・賃貸住宅事業は、営業利益の4割以下であり、業績のけん引役は、営業利益の約6割を占める商業・物流関連事業となっています。業況は、物流施設やホテル等の商業施設事業がけん引し堅調な状況です。期中福島県に物流施設を建設する計画を発表し、物流事業の好調さが引き続き意識された

ことなどから株価が上昇しました。

- ・キーエンス（電気機器）：自動化用センサー事業において世界でトップの収益率と海外展開を通じた高い成長力を評価しています。製品の競争力や営業力の強さを背景とした業績の拡大が見込まれます。2月1日に発表された4-12月期決算は、工場の自動化用センサーが幅広く伸び、純利益が同期の過去最高を記録しました。堅調な業況を背景に株価が上昇しました。

（主なマイナス寄与銘柄）

- ・MTG（その他製品）：美顔ローラーやトレーニング機器などの高品質な独自ブランド製品の成長性を評価しています。期中発表された10-12月期決算は大幅な減益となりました。中国の電子商取引に対する規制強化に伴い転売目的の需要が減少したことが主因とされています。会社側は新商品開発による販売でこ入れを行うとしていますが、業績の先行きに不透明感が強まり株価が大幅に下落しました。
- ・日揮（建設業）：エネルギー価格上昇を背景とした受注回復、効率的な資本配分、割安な株価を評価しています。原油価格の下落が材料となったほか、中東などにおけるプラント建設案件の進捗の遅れなどから通期営業利益の予想を下方修正したことから株価が下落しました。
- ・SBIホールディングス（証券・商品先物取引業）：国内最大級のネット証券として既存証券会社からの市場シェア獲得などによる成長を評価しています。バイオ関連事業などの非中核事業の再編にも期待しています。株式市場が不安定化する中で業績不透明感が強まったことや、ネット証券による投信販売が減少傾向にあることなどを背景に株価が下落しました。

○今後の運用方針

<ベビーファンド>

キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

## ＜マザーファンド＞

### ◎運用環境の見通し

国内景気は、賃金回復による消費の拡大、設備投資回復の継続、外需の拡大などから緩やかに回復する見通しです。物価は、労働需給の逼迫などから中長期的には徐々に上向くと見込まれます。企業業績は、内外経済の緩やかな回復、円高傾向の一巡、企業の収益性の改善などから増益基調が継続する見通しです。株式市場のバリュエーション（株価評価）は依然として割安な水準にあり、企業業績見通しや株主還元が改善するにつれ見直しが入ると考えられます。株式市場は、企業業績が緩やかに拡大するなかで、割安なバリュエーションが要因となり、底堅い推移が見込まれます。一方、米国株式のバリュエーション調整再燃、中国経済の大幅な減速、貿易摩擦による国内外の景気や企業収益の下振れ、これらの実現による円高の進行などは市場の変動性を高めるリスク要因と

して引き続き注意が必要です。リスク要因で株価が大きく振れる市場環境では、株価バリュエーションと企業の中長期的な収益成長の検討がより重要になると考えます。引き続き、企業訪問を中心とした情報収集や銘柄ごとの投資判断を重視した運用に努めます。

### ◎今後（当面）の運用方針

中長期的な収益成長見通しに照らして足下の株価水準が割安と判断される銘柄に選別的に投資します。徹底的な精査と運用担当者間の活発な議論を通じ、中長期的な利益成長見通しに照らして株価の上昇余地が見込まれる銘柄や、先行きへの過度な不安から足下の株価に割安感のある銘柄に投資する一方、割安感が後退した銘柄やファンダメンタルズ面でマイナスの要因が見出される銘柄について投資判断の見直しを進めてまいります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月27日～2019年3月26日)

| 項 目                   | 当 期      |            | 項 目 の 概 要                         |
|-----------------------|----------|------------|-----------------------------------|
|                       | 金 額      | 比 率        |                                   |
| (a) 信 託 報 酬           | 円<br>114 | %<br>0.455 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率           |
| ( 投 信 会 社 )           | (107)    | (0.428)    | 委託した資金の運用の対価                      |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 0 )    | (0.001)    | 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 7 )    | (0.026)    | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価           |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 6        | 0.022      | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数  |
| ( 株 式 )               | ( 6 )    | (0.022)    | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料  |
| (c) そ の 他 費 用         | 8        | 0.031      | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数      |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 8 )    | (0.031)    | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用             |
| ( そ の 他 )             | ( 0 )    | (0.000)    | 金銭信託預入に係る手数料等                     |
| 合 計                   | 128      | 0.508      |                                   |
| 期中の平均基準価額は、25,064円です。 |          |            |                                   |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○ 売買及び取引の状況

(2018年9月27日～2019年3月26日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄                                | 設 定         |             | 解 約     |              |
|------------------------------------|-------------|-------------|---------|--------------|
|                                    | 口 数         | 金 額         | 口 数     | 金 額          |
| キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド | 千口<br>0.244 | 千円<br>3,450 | 千口<br>3 | 千円<br>60,320 |

(注) 単位未満は切捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

## ○株式売買比率

(2018年9月27日～2019年3月26日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期                                |              |
|---------------------|------------------------------------|--------------|
|                     | キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド |              |
| (a) 期中の株式売買金額       |                                    | 19,139,885千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   |                                    | 48,950,596千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) |                                    | 0.39         |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月27日～2019年3月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月26日現在)

### 親投資信託残高

| 銘 柄                                | 期首(前期末) | 当 期 末 |           |
|------------------------------------|---------|-------|-----------|
|                                    | 口 数     | 口 数   | 評 価 額     |
|                                    | 千口      | 千口    | 千円        |
| キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド | 79      | 75    | 1,080,101 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月26日現在)

| 項 目                                | 当 期 末     |       |
|------------------------------------|-----------|-------|
|                                    | 評 価 額     | 比 率   |
|                                    | 千円        | %     |
| キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド | 1,080,101 | 100.0 |
| コール・ローン等、その他                       | 80        | 0.0   |
| 投資信託財産総額                           | 1,080,181 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月26日現在)

| 項 目                                    | 当 期 末         |
|----------------------------------------|---------------|
|                                        | 円             |
| (A) 資産                                 | 1,080,181,778 |
| コール・ローン等                               | 79,859        |
| キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド(信託) | 1,080,101,919 |
| (B) 負債                                 | 5,350,201     |
| 未払信託報酬                                 | 5,001,577     |
| その他未払費用                                | 348,624       |
| (C) 純資産総額(A－B)                         | 1,074,831,577 |
| 元本                                     | 435,520,474   |
| 次期繰越損益金                                | 639,311,103   |
| (D) 受益権総口数                             | 435,520,474口  |
| 1万口当たり基準価額(C／D)                        | 24,679円       |

<注記事項>

|           |              |
|-----------|--------------|
| 期首元本額     | 445,262,477円 |
| 期中追加設定元本額 | 1,375,170円   |
| 期中一部解約元本額 | 11,117,173円  |

○損益の状況 (2018年9月27日～2019年3月26日)

| 項 目              | 当 期            |
|------------------|----------------|
|                  | 円              |
| (A) 配当等収益        | △ 4            |
| 支払利息             | △ 4            |
| (B) 有価証券売買損益     | △155,660,776   |
| 売買益              | 4,308,291      |
| 売買損              | △159,969,067   |
| (C) 信託報酬等        | △ 5,350,201    |
| (D) 当期損益金(A＋B＋C) | △161,010,981   |
| (E) 前期繰越損益金      | 680,217,965    |
| (F) 追加信託差損益金     | 120,104,119    |
| (配当等相当額)         | ( 113,496,954) |
| (売買損益相当額)        | ( 6,607,165)   |
| (G) 計(D＋E＋F)     | 639,311,103    |
| (H) 収益分配金        | 0              |
| 次期繰越損益金(G＋H)     | 639,311,103    |
| 追加信託差損益金         | 120,104,119    |
| (配当等相当額)         | ( 113,502,137) |
| (売買損益相当額)        | ( 6,601,982)   |
| 分配準備積立金          | 684,756,115    |
| 繰越損益金            | △165,549,131   |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド

## キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンド

第12期

決算日 2018年12月10日

(計算期間: 2017年12月12日から2018年12月10日まで)

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |                                                 |
|--------|-------------------------------------------------|
| 運用方針   | 主としてわが国の株式に投資を行ない、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行ないます。     |
| 主要投資対象 | わが国の株式                                          |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には、制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合は、30%以内とします。 |

### ●最近5期の運用実績

| 決算期              | 基準価額   |           | ベンチマーク          |           | 株式<br>組入比率 | 株式<br>先物比率 | 投資<br>証券比率 | 純資産<br>総額 |
|------------------|--------|-----------|-----------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|
|                  |        | 期中<br>騰落率 | TOPIX<br>(配当込み) | 期中<br>騰落率 |            |            |            |           |
|                  | 円      | %         |                 | %         | %          | %          | %          | 百万円       |
| 8期(2014年12月10日)  | 11,409 | 10.6      | 1,922.55        | 14.2      | 97.9       | —          | —          | 72,650    |
| 9期(2015年12月10日)  | 12,511 | 9.7       | 2,145.49        | 11.6      | 97.0       | —          | —          | 71,763    |
| 10期(2016年12月12日) | 12,628 | 0.9       | 2,180.08        | 1.6       | 97.7       | —          | —          | 64,636    |
| 11期(2017年12月11日) | 15,768 | 24.9      | 2,636.43        | 20.9      | 97.0       | —          | —          | 52,053    |
| 12期(2018年12月10日) | 14,091 | △10.6     | 2,361.60        | △10.4     | 97.8       | —          | —          | 48,239    |

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨てています。

(注4) TOPIXは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等、TOPIXに関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しております。株式会社東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しております。株式会社東京証券取引所は、当ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

### ●当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日         | 基準価額   |       | ベンチマーク          |       | 株式<br>組入比率 | 株式<br>先物比率 | 投資<br>証券比率 |
|-------------|--------|-------|-----------------|-------|------------|------------|------------|
|             |        | 騰落率   | TOPIX<br>(配当込み) | 騰落率   |            |            |            |
| (期首)        | 円      | %     |                 | %     | %          | %          | %          |
| 2017年12月11日 | 15,768 | —     | 2,636.43        | —     | 97.0       | —          | —          |
| 12月末        | 15,859 | 0.6   | 2,645.77        | 0.4   | 96.9       | —          | —          |
| 2018年1月末    | 16,233 | 2.9   | 2,673.82        | 1.4   | 97.3       | —          | —          |
| 2月末         | 15,386 | △2.4  | 2,574.87        | △2.3  | 97.3       | —          | —          |
| 3月末         | 15,092 | △4.3  | 2,522.26        | △4.3  | 96.9       | —          | —          |
| 4月末         | 15,558 | △1.3  | 2,611.85        | △0.9  | 96.7       | —          | —          |
| 5月末         | 15,506 | △1.7  | 2,568.21        | △2.6  | 96.4       | —          | —          |
| 6月末         | 15,386 | △2.4  | 2,548.78        | △3.3  | 97.2       | —          | —          |
| 7月末         | 15,694 | △0.5  | 2,581.96        | △2.1  | 97.3       | —          | —          |
| 8月末         | 15,500 | △1.7  | 2,556.25        | △3.0  | 98.6       | —          | —          |
| 9月末         | 16,361 | 3.8   | 2,698.09        | 2.3   | 95.4       | —          | —          |
| 10月末        | 14,744 | △6.5  | 2,444.11        | △7.3  | 97.1       | —          | —          |
| 11月末        | 14,861 | △5.8  | 2,475.92        | △6.1  | 97.0       | —          | —          |
| (期末)        |        |       |                 |       |            |            |            |
| 2018年12月10日 | 14,091 | △10.6 | 2,361.60        | △10.4 | 97.8       | —          | —          |

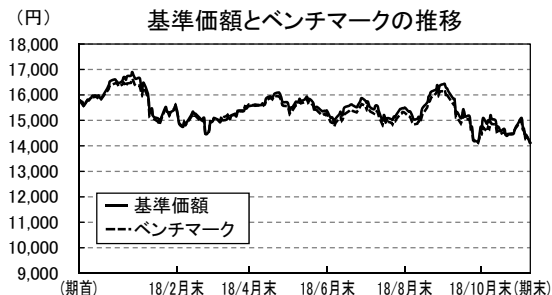
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) TOPIXは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等、TOPIXに関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しております。株式会社東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しております。株式会社東京証券取引所は、当ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

## ●当期中の基準価額の変動に関する主な要因について（2017年12月12日～2018年12月10日）

基準価額は期首に比べ10.6%の下落となりました。



(注1) ベンチマークは当期首の基準価額に合せて指数化しています。

(注2) ベンチマークはTOPIX(配当込み)です。

基準価額の主な変動要因は、キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・マザーファンドが投資するわが国の株式等の価格変動の影響となります。なお、当期中におけるわが国の株式等の価格は、次の投資環境の影響等を受けて変動しました。

### 当期中の投資環境

#### <国内株式>

当期の国内株式市場は、下落しました。

#### 主な市場変動要因

##### (プラス要因)

- ・ 好調な世界景気と企業業績の堅調な拡大
- ・ 米国減税・雇用法による企業業績と景気への好影響
- ・ 当期後半における円安の動き

##### (マイナス要因)

- ・ 米中貿易摩擦の景気や企業業績への影響に対する懸念
- ・ 米国の金融政策に対する不透明感や欧州主要国における政情不安
- ・ 当期前半における円高の進行

## ●当期中の基準価額とベンチマークの推移とを比較したときの、差異の状況および要因について

当期の基準価額騰落率はマイナス10.6%となり、ベンチマーク(TOPIX 配当込み)のマイナス10.4%を0.2%下回りました。

#### 主なベンチマークとの差異要因

##### (プラス要因)

- ・ 証券・商品先物取引業における銘柄選択(SBIホールディングスの保有など)
- ・ 現預金等の保有
- ・ 機械における銘柄選択(三浦工業の保有など)

##### (マイナス要因)

- ・ 食料品における銘柄選択(明治ホールディングスの保有など)
- ・ 陸運業のアンダーウェイト
- ・ 機械のオーバーウェイト

## ●運用経過

徹底した個別企業調査に基づき、株価が本源的価値より過小評価されていると考えられる銘柄を発掘することに注力しつつ、投資企業を厳選しました。

## ●今後の運用方針

今後も徹底した個別企業調査が長期にわたる優れた運用実績につながるという考えで運用を行なっていく方針です。市場参加者の誰よりも投資対象となる企業を理解することで過小評価されている銘柄をポートフォリオに組み込むことができ、結果として市場を上回る投資成果を獲得することが可能との考えの下、引き続き運用実績の向上を目指します。



# ●1口当たり費用明細

| 項目         | 第12期                      |         | 項目の概要                                        |
|------------|---------------------------|---------|----------------------------------------------|
|            | (2017年12月12日～2018年12月10日) |         |                                              |
|            | 金額                        | 比率      |                                              |
| (a)売買委託手数料 | 8円                        | 0.054%  | (a)売買委託手数料＝〔期中の<br>売買委託手数料〕÷<br>〔期中の平均受益権口数〕 |
| (株式)       | (8)                       | (0.054) | 有価証券等の売買の際、売<br>買仲介人に支払う手数料                  |
| (b)その他費用   | 0                         | 0.000   | (b)その他費用＝〔期中のそ<br>の他費用〕÷〔期中の平<br>均受益権口数〕     |
| (その他)      | (0)                       | (0.000) | 金銭信託預入に係る手数料等                                |
| 合計         | 8                         | 0.054   |                                              |

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注2) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額(期中の平均基準価額は15,515円です)で除して100を乗じたものです。

# ●期中の売買及び取引の状況 株式 (2017年12月12日から2018年12月10日まで)

|    | 買付     |            | 売付    |            |
|----|--------|------------|-------|------------|
|    | 株数     | 金額         | 株数    | 金額         |
|    | 千株     | 千円         | 千株    | 千円         |
| 国内 | 7,513  | 25,037,095 | 8,976 | 21,511,973 |
| 上場 | (△520) | (－)        |       |            |

(注1) 金額は受渡代金です。  
(注2) 単位未満は切捨てています。  
(注3) (－)内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

# ●組入資産の明細

## 国内株式 (2018年12月10日現在) 上場株式

| 銘柄                  | 期首      | 当期末   |           |
|---------------------|---------|-------|-----------|
|                     | 株数      | 株数    | 評価額       |
|                     | 千株      | 千株    | 千円        |
| <b>水産・農林業(0.8%)</b> |         |       |           |
| 日本水産                | 420.5   | 448.4 | 298,634   |
| サカタのタネ              | 7.2     | 26.8  | 103,314   |
| <b>鉱業(1.8%)</b>     |         |       |           |
| 国際石油開発帝石            | －       | 718.6 | 857,649   |
| <b>建設業(5.5%)</b>    |         |       |           |
| 高松コンストラクショングループ     | 103     | 103   | 276,040   |
| 長谷エコーボレーション         | 121.6   | 72.3  | 93,267    |
| 大和ハウス工業             | 300.6   | 488.3 | 1,668,521 |
| 日揮                  | 226.5   | 342.2 | 561,550   |
| <b>食料品(5.1%)</b>    |         |       |           |
| 明治ホールディングス          | 85.1    | 9,199 | 80,215    |
| アサヒグループホールディングス     | 97      | 196.5 | 859,294   |
| アリアケジャパン            | 9.1     | 18    | 167,400   |
| 日本たばこ産業             | 349.6   | 468.2 | 1,312,598 |
| <b>化学(12.6%)</b>    |         |       |           |
| 旭化成                 | 1,386.5 | 536.3 | 614,331   |
| 信越化学工業              | 177.8   | 198.8 | 1,852,418 |
| 積水化学工業              | 92.2    | 189.4 | 334,859   |
| 花王                  | 34.5    | 15.3  | 125,077   |
| 関西ペイント              | 106.6   | 262.4 | 527,948   |
| ミルボン                | －       | 16.7  | 81,412    |
| コーセー                | 5.1     | 25.2  | 413,784   |
| エフビコ                | 52.2    | 56.1  | 369,699   |
| ニフコ                 | 86.1    | 221.9 | 612,887   |
| ユニ・チャーム             | 119.4   | 290.4 | 1,023,660 |
| <b>医薬品(3.5%)</b>    |         |       |           |
| 塩野義製薬               | 170.8   | 228.3 | 1,579,836 |
| 参天製薬                | －       | 29.7  | 53,964    |
| <b>鉄鋼(1.7%)</b>     |         |       |           |
| 大和工業                | 199.4   | 200.6 | 547,236   |
| 大平洋金属               | 79.7    | 79.7  | 244,280   |
| <b>非鉄金属(－%)</b>     |         |       |           |
| 住友電気工業              | 240     | －     | －         |
| <b>金属製品(－%)</b>     |         |       |           |
| リンナイ                | 38.3    | －     | －         |
| <b>機械(9.4%)</b>     |         |       |           |
| 三浦工業                | 143.529 | 52.3  | 153,448   |
| FUJI                | 158.3   | 99.9  | 137,862   |
| ディスコ                | －       | 5.3   | 75,472    |
| 島精機製作所              | 40.9    | －     | －         |
| SMC                 | 48.4    | 36    | 1,249,920 |
| サトーホールディングス         | 75      | 75    | 214,575   |
| ハーモニック・ドライブ・システムズ   | 37.8    | 88.7  | 321,094   |
| クボタ                 | 156.9   | －     | －         |
| ダイキン工業              | 8.7     | 37    | 451,585   |
| ダイフク                | －       | 84    | 470,400   |
| グローリー               | 58.5    | －     | －         |
| ツバキ・ナカシマ            | 43.7    | 119.2 | 214,798   |

| 銘柄                    | 期首    | 当期末    |           |
|-----------------------|-------|--------|-----------|
|                       | 株数    | 株数     | 評価額       |
|                       | 千株    | 千株     | 千円        |
| ホシザキ                  | 62.3  | 57.2   | 514,228   |
| IHI                   | 248.4 | 188.5  | 642,785   |
| <b>電気機器(13.6%)</b>    |       |        |           |
| 日立製作所                 | 506   | 232.1  | 755,253   |
| 三菱電機                  | 814.1 | —      | —         |
| 日本電産                  | 67.8  | 55.8   | 767,808   |
| オムロン                  | 50.8  | —      | —         |
| ルネサスエレクトロニクス          | 439.8 | 559.8  | 289,976   |
| ソニー                   | —     | 27.9   | 158,862   |
| TDK                   | —     | 42.4   | 335,808   |
| キーエンス                 | 13.6  | 17.6   | 1,018,336 |
| シスメックス                | 54.2  | 14,826 | 83,129    |
| OBARA GROUP           | 55.7  | 62.5   | 268,437   |
| ファナック                 | 3.1   | —      | —         |
| ローム                   | 12.9  | 58.3   | 424,424   |
| 浜松ホトニクス               | 190.7 | 147.3  | 547,219   |
| 村田製作所                 | 96.3  | 110.8  | 1,777,786 |
| <b>輸送用機器(4.1%)</b>    |       |        |           |
| デンソー                  | 93.2  | 159.9  | 814,370   |
| 川崎重工業                 | 147.1 | 124.4  | 314,483   |
| 日産自動車                 | 91.6  | —      | —         |
| スズキ                   | 25.4  | 63.6   | 344,712   |
| エクセディ                 | 51.4  | 33.2   | 90,138    |
| シマノ                   | 8.6   | 21.8   | 348,800   |
| <b>精密機器(4.3%)</b>     |       |        |           |
| テルモ                   | 10.3  | 22.8   | 139,194   |
| ナカニシ                  | 91.4  | 354.5  | 696,947   |
| マニーマニ                 | 2.2   | 17.9   | 89,500    |
| トプコン                  | 115.1 | 135.9  | 226,953   |
| HOYA                  | —     | 28.4   | 191,387   |
| 朝日インテック               | 107.9 | 117.9  | 642,555   |
| CYBERDYNE             | 147.9 | 58.9   | 37,519    |
| <b>その他製品(2.5%)</b>    |       |        |           |
| MTG                   | —     | 77     | 508,970   |
| パラマウントベッドホールディングス     | —     | 13.7   | 62,609    |
| 任天堂                   | 10.3  | 18.1   | 594,223   |
| <b>電気・ガス業(0.4%)</b>   |       |        |           |
| 九州電力                  | 123.7 | 145.1  | 194,869   |
| <b>陸運業(0.1%)</b>      |       |        |           |
| 東日本旅客鉄道               | 15.5  | 5.1    | 52,173    |
| 西武ホールディングス            | 202.9 | —      | —         |
| <b>倉庫・運輸関連業(0.2%)</b> |       |        |           |
| 近鉄エクスプレス              | 139.5 | 64.8   | 114,955   |
| <b>情報・通信業(6.0%)</b>   |       |        |           |
| じげん                   | —     | 378.3  | 218,279   |
| ユーザベース                | —     | 39.8   | 83,420    |
| シェアリングテクノロジー          | —     | 18.6   | 27,137    |
| マネーフォワード              | —     | 24     | 80,760    |
| メルカリ                  | —     | 51.14  | 128,156   |
| オービック                 | —     | 25.8   | 236,328   |
| トレンドマイクロ              | 62.1  | 45.5   | 282,555   |
| KDDI                  | 225.3 | —      | —         |
| NTTドコモ                | 113.4 | 36.1   | 92,109    |

| 銘柄                      | 期首               | 当期末          |                          |
|-------------------------|------------------|--------------|--------------------------|
|                         | 株数               | 株数           | 評価額                      |
|                         | 千株               | 千株           | 千円                       |
| ゼンリン                    | 92.8             | 37.2         | 99,956                   |
| 福井コンピュータホールディングス        | 14               | —            | —                        |
| ソフトバンクグループ              | 238.4            | 185          | 1,593,960                |
| <b>卸売業(5.1%)</b>        |                  |              |                          |
| 伊藤忠商事                   | 280              | 176.7        | 351,367                  |
| 丸紅                      | 370.4            | 370.4        | 299,098                  |
| 住友商事                    | 168.5            | 184.1        | 305,329                  |
| 三菱商事                    | 301.6            | 305.6        | 927,190                  |
| ミスミグループ本社               | —                | 205.8        | 505,239                  |
| <b>小売業(8.3%)</b>        |                  |              |                          |
| セリア                     | —                | 69.1         | 304,040                  |
| コスモス薬品                  | 19.4             | 32.2         | 696,164                  |
| ツルハホールディングス             | 7.1              | 17.2         | 189,028                  |
| 良品計画                    | 13.2             | 25.2         | 738,108                  |
| 島忠                      | 49.6             | —            | —                        |
| ゼビオホールディングス             | 91               | 39.9         | 55,780                   |
| ニトリホールディングス             | —                | 32           | 463,680                  |
| ファーストリテイリング             | —                | 25.6         | 1,473,280                |
| <b>銀行業(7.2%)</b>        |                  |              |                          |
| 新生銀行                    | 179.8            | 188.6        | 282,145                  |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ       | 1,292.1          | 1,104.7      | 658,953                  |
| りそなホールディングス             | 1,263            | 1,186.4      | 665,807                  |
| 三井住友トラスト・ホールディングス       | 169.7            | 182.2        | 771,252                  |
| 三井住友フィナンシャルグループ         | 211.1            | 253.5        | 1,004,367                |
| スルガ銀行                   | 136.3            | —            | —                        |
| <b>証券、商品先物取引業(2.6%)</b> |                  |              |                          |
| SBIホールディングス             | 371.1            | 490.1        | 1,208,586                |
| 大和証券グループ本社              | 1,307            | —            | —                        |
| <b>保険業(1.5%)</b>        |                  |              |                          |
| 第一生命ホールディングス            | 55.8             | 135.7        | 253,487                  |
| 東京海上ホールディングス            | 89.6             | 81.5         | 446,212                  |
| <b>その他金融業(1.1%)</b>     |                  |              |                          |
| オリックス                   | 792              | 214.5        | 373,122                  |
| 日本取引所グループ               | —                | 86.2         | 163,176                  |
| <b>不動産業(0.2%)</b>       |                  |              |                          |
| レオパレス21                 | 131.4            | 161.3        | 73,230                   |
| <b>サービス業(2.4%)</b>      |                  |              |                          |
| エス・エム・エス                | —                | 40.6         | 71,334                   |
| アウトソーシング                | 71.1             | —            | —                        |
| サイバーエージェント              | 21.7             | 63.9         | 300,010                  |
| リクルートホールディングス           | 122.4            | 234.5        | 702,327                  |
| 共立メンテナンス                | —                | 15.1         | 79,577                   |
| カナモト                    | 36.6             | —            | —                        |
| 西尾レントオール                | 48.1             | —            | —                        |
| 合計                      | 株数・金額<br>銘柄数<比率> | 17,625<br>97 | 15,641<br>102<br><97.8%> |

(注1) 各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

(注2) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注3) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注5) 一印は組み入れがないことを示します。

## ●投資信託財産の構成

(2018年12月10日現在)

| 項目           | 当期末        |       |
|--------------|------------|-------|
|              | 評価額        | 比率    |
|              | 千円         | %     |
| 株式           | 47,202,008 | 97.6  |
| コール・ローン等、その他 | 1,156,978  | 2.4   |
| 投資信託財産総額     | 48,358,986 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## ●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年12月10日現在)

| 項目             | 当期末             |
|----------------|-----------------|
| (A) 資産         | 48,358,986,916円 |
| コール・ローン等       | 1,118,892,484   |
| 株式(評価額)        | 47,202,008,982  |
| 未収配当金          | 38,085,450      |
| (B) 負債         | 119,423,370     |
| 未払金            | 119,420,306     |
| 未払利息           | 3,064           |
| (C) 純資産総額(A－B) | 48,239,563,546  |
| 元本             | 34,233,550,000  |
| 次期繰越損益金        | 14,006,013,546  |
| (D) 受益権総口数     | 3,423,355口      |
| 1口当たり基準価額(C／D) | 14,091円         |

(注1) 当マザーファンドの期首元本額は33,012,940,000円、期中追加設定元本額は7,609,070,000円、期中一部解約元本額は6,388,460,000円です。当マザーファンドの期末元本額は、34,233,550,000円です。

(注2) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、キャピタル・インターナショナル・ジャパン・エクイティ・ファンドF(適格機関投資家専用)17,201,320,000円、キャピタル日本株式ファンド7,623,380,000円、キャピタル日本株式ファンドF8,636,950,000円、キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド(適格機関投資家用)771,900,000円です。

(注3) 1口当たり純資産額は14,091円です。

## ●損益の状況

(自 2017年12月12日 至 2018年12月10日)

| 項目               | 当期              |
|------------------|-----------------|
| (A) 配当等収益        | 973,470,572円    |
| 受取配当金            | 974,893,492     |
| 受取利息             | 44              |
| その他収益金           | 29,421          |
| 支払利息             | △ 1,452,385     |
| (B) 有価証券売買損益     | △ 6,809,263,431 |
| 売買益              | 2,125,884,331   |
| 売買損              | △ 8,935,147,762 |
| (C) その他費用        | △ 25,974        |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 5,835,818,833 |
| (E) 前期繰越損益金      | 19,040,268,379  |
| (F) 追加信託差損益金     | 4,259,523,000   |
| (G) 解約差損益金       | △ 3,457,959,000 |
| (H) 計(D+E+F+G)   | 14,006,013,546  |
| 次期繰越損益金(H)       | 14,006,013,546  |

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ●お知らせ

信用リスク集中回避のための法令改正等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行ないました(2018年6月29日付)。

## G I Mザ・ジャパン（適格機関投資家用）

## 《第17期》決算日2019年3月26日

[計算期間：2018年9月27日～2019年3月26日]

「G I Mザ・ジャパン（適格機関投資家用）」は、第17期の決算を行いました。

ここに、運用状況をご報告申し上げます。

運用会社：J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社

|         |                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針 | G I Mザ・ジャパン・マザーファンド（適格機関投資家専用）を通じて、日本の株式を実質的な主要投資対象とします。銘柄の選定にあたっては、日本の産業構造が変化していく中で、利益成長性が高く、株主を重視した経営を行っており、かつこれらの状況を市場が織り込んでいない企業に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指した積極的な運用を行います。T O P I X（東証株価指数）配当込みをベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果の実現を目指します。 |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日               | 基 準 価 額     | 騰 落 率 |  | T O P I X（東証株価指数） |       | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|---------------------|-------------|-------|--|-------------------|-------|-----------|-----------|
|                     |             | 騰 落 率 |  | 配 当 込 み           | 騰 落 率 |           |           |
| (期 首)<br>2018年9月26日 | 円<br>39,475 | %     |  | 25,286.18         | %     | 98.0      | %         |
| 9月末                 | 39,256      | △ 0.6 |  | 25,224.75         | △ 0.2 | 97.2      | —         |
| 10月末                | 33,882      | △14.2 |  | 22,850.26         | △ 9.6 | 95.0      | —         |
| 11月末                | 35,224      | △10.8 |  | 23,147.66         | △ 8.5 | 96.0      | —         |
| 12月末                | 29,422      | △25.5 |  | 20,784.11         | △17.8 | 97.8      | —         |
| 2019年1月末            | 31,854      | △19.3 |  | 21,807.00         | △13.8 | 98.2      | —         |
| 2月末                 | 33,385      | △15.4 |  | 22,373.18         | △11.5 | 96.6      | —         |
| (期 末)<br>2019年3月26日 | 33,012      | △16.4 |  | 22,518.37         | △10.9 | 97.8      | —         |

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 騰落率は期首比です。

(注) ベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しております（以下同じ）。

(注) T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません（以下同じ）。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

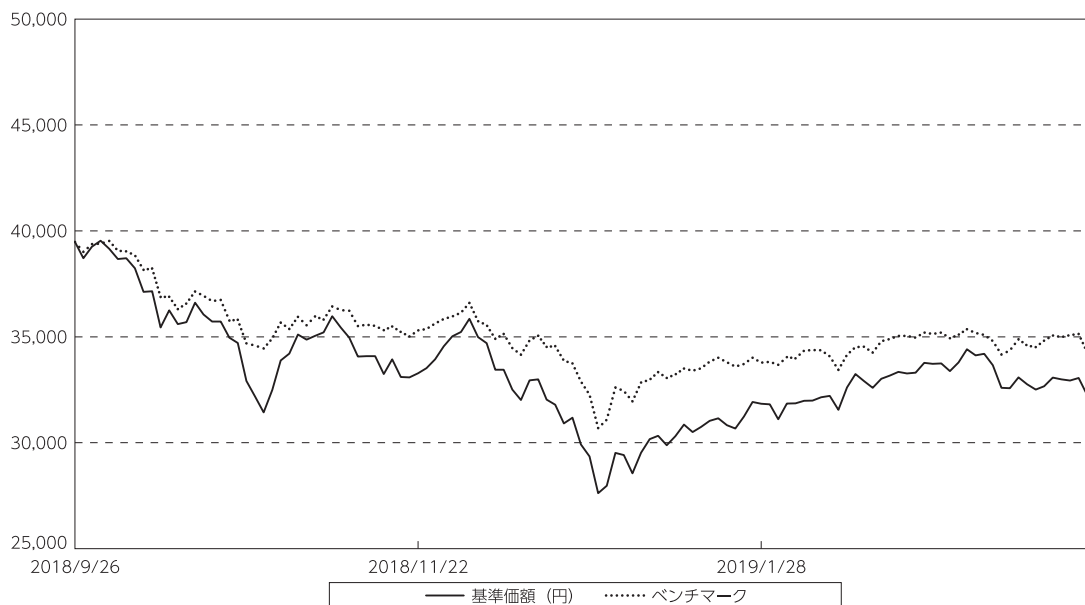
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.4%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－10.9%）を5.5%下回りました。

## 基準価額等の推移



（注）ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

中長期的な成長が期待できると考えて組み入れた先端医療・バイオ医薬品関連銘柄、次世代通信規格「5G」関連やシェアリング関連などのIT関連銘柄に加え、割安感や株主還元拡充への期待が高まった建設関連銘柄が堅調に推移したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## 下落要因

フィンテック関連などの金融関連銘柄のほかテクノロジーやコンテンツ関連など、同じ投資テーマの中でも需給や業績などの要因により下落幅が大きくなった銘柄があったことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

TOPIX（配当込み）は前期末比で下落しました。

- ・ 期初は米国の長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦の長期化への懸念が高まったことなどから下落して始まりましたが、その後は米中首脳会談での貿易摩擦回避に向けた歩み寄りへの期待などを背景に底堅い動きとなりました。
- ・ 12月に入ると、英国のEU（欧州連合）離脱問題など米欧における政治的不透明感などを背景に下落しましたが、2019年に入ると、米中貿易協議の進展への期待や、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げに関して慎重な姿勢を示したことなどを背景に、期末にかけて概ね上昇基調で推移しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

<GIMザ・ジャパン（適格機関投資家用）>

当ファンドは、GIMザ・ジャパン・マザーファンド（適格機関投資家専用）（以下、マザーファンド）の受益証券を高位に組み入れました。

### <マザーファンド>

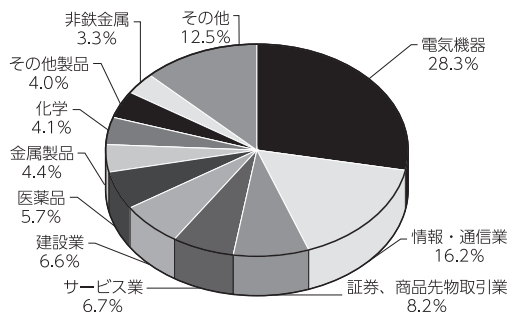
基準価額は期首に比べ16.0%の下落となりました。

セクター別の配分は、ボトムアップでの銘柄選択の結果によるものです。投資行動の結果として、電気機器、情報・通信業、証券、商品先物取引業、建設業、サービス業などの投資比率が高くなっています。

（ご参考）

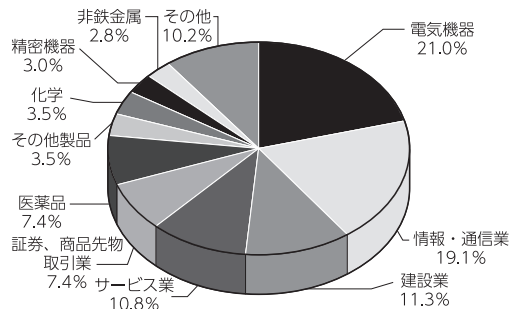
組入上位10業種

期首（2018年9月26日）



（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

期末（2019年3月26日）



●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
 <GIMザ・ジャパン（適格機関投資家用）>

基準価額は、16.4%の下落となり、ベンチマークの10.9%の下落と比べて5.5%のアンダーパフォームとなりました。実質的な運用を行っているマザーファンドがベンチマークを5.1%下回ったことなどによるものです。

<マザーファンド>

基準価額は、16.0%の下落となり、ベンチマークの10.9%の下落と比べて5.1%のアンダーパフォームとなりました。

△主なプラス要因

- ・建設業、サービス業の保有比率を対ベンチマークで高めとしたこと
- ・銀行業、機械の保有比率を対ベンチマークで低めとしたことや、石油・石炭製品、保険業を非保有としたこと
- ・医薬品、情報・通信業、建設業などにおける銘柄選択

▼主なマイナス要因

- ・陸運業、電気・ガス業、食料品を非保有としたこと
- ・証券、商品先物取引業、電気機器、金属製品の保有比率を対ベンチマークで高めとしたこと
- ・サービス業、機械、電気機器などにおける銘柄選択

○今後の運用方針

<GIMザ・ジャパン（適格機関投資家用）>

主として、マザーファンドの受益証券に投資します。

<マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・世界的に金融政策の引き締めに対する懸念が後退している中、景気後退はまだ先であるとの見方がある一方で、世界貿易摩擦などの不透明要因による世界景気や企業業績の減速リスクへの警戒感があることなどから、株式市場は変動性の高い展開が続くと予想されます。
- ・中長期的には多くの日本企業が利益成長を実現すると見ており、そうした成長が期待できる企業の株価は持続的な上昇が期待できると判断しています。このような環境下、景気循環による短期的な局面変化や、テクノロジーの進化といった長期的な構造変化などが見られた際には、個別の企業を見極め、機動的に銘柄を選択することが重要と考えます。

◎今後（当面）の運用方針

日本の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に、積極的な運用を行います。投資の視点としては、引き続き中長期的な独自の成長ストーリーを有する銘柄に注目し、投資を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年9月27日～2019年3月26日)

| 項 目                   | 当 期      |            | 項 目 の 概 要                                                      |
|-----------------------|----------|------------|----------------------------------------------------------------|
|                       | 金 額      | 比 率        |                                                                |
| (a) 信 託 報 酬           | 円<br>154 | %<br>0.455 | (a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率                                     |
| ( 投 信 会 社 )           | (145)    | (0.428)    | 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 2 )    | (0.005)    | 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価  |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 7 )    | (0.021)    | 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 11       | 0.032      | (b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ |
| ( 株 式 )               | ( 11 )   | (0.032)    | 有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料                  |
| (c) そ の 他 費 用         | 4        | 0.011      | (c) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$     |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 4 )    | (0.010)    | 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用                          |
| ( そ の 他 )             | ( 0 )    | (0.000)    | その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用                                         |
| 合 計                   | 169      | 0.498      |                                                                |
| 期中の平均基準価額は、33,837円です。 |          |            |                                                                |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄               | 設 定          |              | 解 約          |               |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
|                   | 口 数          | 金 額          | 口 数          | 金 額           |
| GIMザ・ジャパン・マザーファンド | 千口<br>10,029 | 千円<br>32,900 | 千口<br>44,404 | 千円<br>158,567 |

(注) 単位未満は切り捨てです。



## ○株式売買比率

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期                 |
|---------------------|---------------------|
|                     | G I Mザ・ジャパン・マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額       | 99,831,503千円        |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 190,296,948千円       |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.52                |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;G I Mザ・ジャパン&gt;

該当事項はございません。

## &lt;G I Mザ・ジャパン・マザーファンド&gt;

| 区 分 | 買付額等<br>A     | うち利害関係人<br>との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等<br>C     | うち利害関係人<br>との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|---------------|---------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------|
|     |               |                     |               |               |                     |               |
| 株式  | 百万円<br>42,275 | 百万円<br>44           | %<br>0.1      | 百万円<br>57,556 | 百万円<br>—            | %<br>—        |

平均保有割合 0.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目              | 当 期     |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 542千円   |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 0.196千円 |
| (B) / (A)        | 0.0%    |

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJ Pモルガン証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年 3 月26日現在)

親投資信託残高

| 銘<br>柄              | 期首(前期末)        | 当 期 末          |                   |
|---------------------|----------------|----------------|-------------------|
|                     | 口 数            | 口 数            | 評 価 額             |
| G I Mザ・ジャパン・マザーファンド | 千口<br>490, 176 | 千口<br>455, 800 | 千円<br>1, 575, 384 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2019年 3 月26日現在)

| 項 目                 | 当 期 末             |             |
|---------------------|-------------------|-------------|
|                     | 評 価 額             | 比 率         |
| G I Mザ・ジャパン・マザーファンド | 千円<br>1, 575, 384 | %<br>100. 0 |
| 投資信託財産総額            | 1, 575, 384       | 100. 0      |

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月26日現在)

| 項 目                    | 当 期 末         |
|------------------------|---------------|
|                        | 円             |
| (A) 資産                 | 1,575,384,121 |
| GIMザ・ジャパン・マザーファンド(評価額) | 1,575,384,121 |
| (B) 負債                 | 7,574,988     |
| 未払信託報酬                 | 7,400,905     |
| その他未払費用                | 174,083       |
| (C) 純資産総額(A－B)         | 1,567,809,133 |
| 元本                     | 474,920,355   |
| 次期繰越損益金                | 1,092,888,778 |
| (D) 受益権総口数             | 474,920,355口  |
| 1万口当たり基準価額(C／D)        | 33,012円       |

## &lt;注記事項&gt;

|           |              |
|-----------|--------------|
| 期首元本額     | 508,310,929円 |
| 期中追加設定元本額 | 10,468,729円  |
| 期中一部解約元本額 | 43,859,303円  |

## ○損益の状況 (2018年9月27日～2019年3月26日)

| 項 目            | 当 期            |
|----------------|----------------|
|                | 円              |
| (A) 有価証券売買損益   | △ 291,410,489  |
| 売買益            | 23,145,986     |
| 売買損            | △ 314,556,475  |
| (B) 信託報酬等      | △ 7,574,988    |
| (C) 当期損益金(A＋B) | △ 298,985,477  |
| (D) 前期繰越損益金    | 1,117,134,904  |
| (E) 追加信託差損益金   | 274,739,351    |
| (配当等相当額)       | ( 290,027,123) |
| (売買損益相当額)      | (△ 15,287,772) |
| (F) 計(C＋D＋E)   | 1,092,888,778  |
| 次期繰越損益金(F)     | 1,092,888,778  |
| 追加信託差損益金       | 274,739,351    |
| (配当等相当額)       | ( 290,063,024) |
| (売買損益相当額)      | (△ 15,323,673) |
| 分配準備積立金        | 1,118,291,531  |
| 繰越損益金          | △ 300,142,104  |

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# GIMザ・ジャパン・マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 9 期 運用報告書

(決算日: 2018年12月14日)

(計算期間: 2017年12月15日～2018年12月14日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| 商 品 分 類     | 親投資信託                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針     | 日本の産業構造の変化の中で利益成長性が高く、株主を重視した経営を行っており、かつこれらの状況を市場が株価に織りこんでいない企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指し、積極的な運用を行います。 |
| 主 要 運 用 対 象 | 日本の株式を主要投資対象とします。                                                                                          |
| 主 な 組 入 制 限 | 株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合は、投資信託財産純資産総額の20%以下とします。                                                    |

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMザ・ジャパン・マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「ザ・ジャパン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

| 決 算 期             | 基 準 価 額<br>円 | 期 騰 落 中 率<br>% | T O P I X (配当込み)<br>(ベンチマーク) |           | 株 組 入 比 率<br>% | 株 先 物 比 率<br>% | 純 資 産 額<br>百万円 |
|-------------------|--------------|----------------|------------------------------|-----------|----------------|----------------|----------------|
|                   |              |                | 期 騰 落 中 率<br>(ベンチマーク)        | 期 騰 落 中 率 |                |                |                |
| 5 期 (2014年12月15日) | 25,933       | 4.3            | 16,756                       | 15.0      | 97.2           | —              | 131,088        |
| 6 期 (2015年12月14日) | 24,836       | △ 4.2          | 18,919                       | 12.9      | 97.1           | —              | 87,129         |
| 7 期 (2016年12月14日) | 27,266       | 9.8            | 19,472                       | 2.9       | 98.2           | —              | 79,009         |
| 8 期 (2017年12月14日) | 39,941       | 46.5           | 23,370                       | 20.0      | 94.0           | —              | 118,344        |
| 9 期 (2018年12月14日) | 33,455       | △ 16.2         | 21,025                       | △ 10.0    | 95.9           | —              | 187,626        |

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注) ベンチマークは、設定時を10,000として指数化しています。

(注) TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株東京証券取引所は当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません(以下同じ)。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日                | 基 準 価 額     | T O P I X ( 配 当 込 み ) |                | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|----------------------|-------------|-----------------------|----------------|-----------|-----------|
|                      |             | 騰 落 率                 | (ベンチマーク) 騰 落 率 |           |           |
| (期 首)<br>2017年12月14日 | 円<br>39,941 | %<br>—                | 23,370         | %<br>—    | %<br>—    |
| 12月末                 | 41,369      | 3.6                   | 23,520         | 0.6       | 95.9      |
| 2018年1月末             | 43,841      | 9.8                   | 23,770         | 1.7       | 98.1      |
| 2月末                  | 42,782      | 7.1                   | 22,890         | △ 2.1     | 98.4      |
| 3月末                  | 42,461      | 6.3                   | 22,422         | △ 4.1     | 97.9      |
| 4月末                  | 41,873      | 4.8                   | 23,219         | △ 0.6     | 99.0      |
| 5月末                  | 41,495      | 3.9                   | 22,831         | △ 2.3     | 97.5      |
| 6月末                  | 40,202      | 0.7                   | 22,658         | △ 3.0     | 98.9      |
| 7月末                  | 41,471      | 3.8                   | 22,953         | △ 1.8     | 99.3      |
| 8月末                  | 41,722      | 4.5                   | 22,724         | △ 2.8     | 98.9      |
| 9月末                  | 40,911      | 2.4                   | 23,985         | 2.6       | 97.2      |
| 10月末                 | 35,342      | △11.5                 | 21,728         | △ 7.0     | 94.9      |
| 11月末                 | 36,769      | △ 7.9                 | 22,010         | △ 5.8     | 95.9      |
| (期 末)<br>2018年12月14日 | 33,455      | △16.2                 | 21,025         | △10.0     | 95.9      |

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注) ベンチマークは、設定時を10,000として指数化しています。

## 投資環境

## ◎日本株式市場

日本株式市場は前期末比で下落しました。

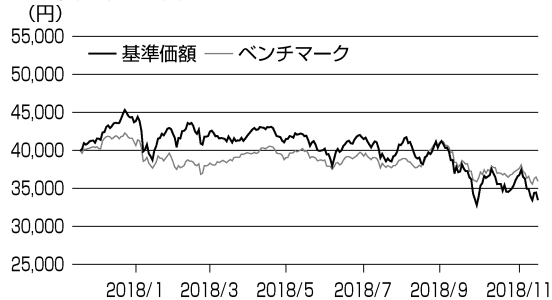
- ◆期首から2018年1月下旬にかけて上昇基調で推移しましたが、米長期金利急騰に伴う世界的株安のなか、3月にかけて下落しました。その後はシリアや北朝鮮などの情勢を巡る懸念の後退や円安基調への転換に加え、企業業績の好調さが確認されたことなどを背景に上昇基調で推移しました。
- ◆5月下旬以降は、好調な米国株式市場や円安基調などは支援材料となったものの、南欧の政治リスクや新興国通貨安への懸念の高まりに加え、米中貿易摩擦の深刻化への警戒感などをを受けて変動性の高い相場展開が続きました。
- ◆9月中旬から下旬にかけては、米国が中国からの輸入に課する追加関税が予想よりも低い水準となり、米中貿易摩擦への過度な警戒感が和らいだことなどを背景に概ね上昇基調で推移しました。
- ◆10月に入ると、米国の長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦の長期化への懸念が高まったことなどから大きく下落し、その後も軟調な展開となりました。

※上記市場の動向は、TOPIX(東証株価指数)を使用しています。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

基準価額の騰落率は-16.2%となりました。



(注)ベンチマークはグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の主な変動要因

中長期的な成長性の観点から組み入れた半導体などのテクノロジー関連のほか先進医療関連や情報通信関連の一部の銘柄が軟調に推移したため基準価額は下落しました。

### ◎ポートフォリオについて

セクター別の配分は、ボトムアップでの銘柄選択の結果によるものです。投資行動としては、証券、商品先物取引業、銀行業、電気機器、情報・通信業などの投資比率が上昇した一方、機械、サービス業、その他製品などの投資比率が低下しました。

### ◎ベンチマークとの差異

ベンチマークの騰落率は-10.0%となり、ファンドの騰落率はベンチマークの騰落率を下回りました。

#### △主なプラス要因

- ・医薬品などの保有比率が対ベンチマークで高かったこと
- ・輸送用機器や鉄鋼を非保有としたことや、銀行業などの保有比率が対ベンチマークで低かったこと
- ・不動産業、電気機器、建設業などにおける銘柄選択

#### ▼主なマイナス要因

- ・電気機器、金属製品、建設業などの保有比率が対ベンチマークで高かったこと
- ・小売業や卸売業などの保有比率が対ベンチマークで低かったことや、陸運業を非保有としたこと
- ・卸売業、機械、小売業などにおける銘柄選択

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

◆株式市場は、企業業績や世界経済のけん引役である米国の金融政策及びマクロ経済の動向に加え、トランプ米大統領の政策実行力などに左右される展開が続くと想定しています。米国経済は良好な労働市場などを背景に堅調な推移が続く中、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げなど金融政策の動向が引き続き注目されると見

ています。また、米中をはじめとした貿易摩擦の影響や新興国の通貨安などについては、リスク要因として注視していきます。

- ◆貿易摩擦などの外部環境の影響には注視が必要と考えるものの、国内企業の業績は堅調に推移しています。企業統治の強化にも引き続き注目しており、日本企業の株主還元及び資本効率の改善も期待できると考えます。

### ◎今後の運用方針

日本の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に、積極的な運用を行います。投資の視点としては、引き続き中長期的な独自の成長ストーリーを有する銘柄に注目し、投資を行う方針です。

### ○1万口当たりの費用明細

(2017年12月15日～2018年12月14日)

| 項 目                          | 当 期        |                  |
|------------------------------|------------|------------------|
|                              | 金 額        | 比 率              |
|                              | 円          | %                |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>( 株 式 ) | 34<br>(34) | 0.083<br>(0.083) |
| (b) そ の 他 費 用<br>( そ の 他 )   | 0<br>( 0 ) | 0.000<br>(0.000) |
| 合 計                          | 34         | 0.083            |

期中の平均基準価額は、40,853円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### ○売買及び取引の状況

(2017年12月15日～2018年12月14日)

#### 株式

|     |    | 買 付                       |                            | 売 付          |                  |
|-----|----|---------------------------|----------------------------|--------------|------------------|
|     |    | 株 数                       | 金 額                        | 株 数          | 金 額              |
| 国 内 | 上場 | 千株<br>107,990<br>( 6,017) | 千円<br>200,456,550<br>( — ) | 千株<br>42,129 | 千円<br>87,024,579 |

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 下段に( )がある場合は株式分割、権利行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2017年12月15日～2018年12月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期           |
|---------------------|---------------|
| (a) 期中の株式売買金額       | 287,481,130千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 204,084,579千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 1.40          |

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月15日～2018年12月14日)

## 利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等<br>A |                     |                    | 売付額等<br>C | うち利害関係人<br>との取引状況 D |                    |
|-----|-----------|---------------------|--------------------|-----------|---------------------|--------------------|
|     | 百万円       | うち利害関係人<br>との取引状況 B | $\frac{B}{A}$<br>% | 百万円       | うち利害関係人<br>との取引状況 D | $\frac{D}{C}$<br>% |
| 株式  | 200,456   | 2,686               | 1.3                | 87,024    | 0.635932            | 0.0                |

(注)金額の単位未満は切捨てです。表示単位未満の場合は小数で記載しております。

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目              | 当 期       |
|------------------|-----------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 173,752千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 1,410千円   |
| (B) / (A)        | 0.8%      |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン証券株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年12月15日～2018年12月14日)

該当事項はございません。



## ○組入資産の明細

(2018年12月14日現在)

下記は、ザ・ジャパン・マザーファンド全体(56,083,527千口)の内容です。

## 国内株式

| 銘柄              | 期首(前期末) | 当 期 末   |           |
|-----------------|---------|---------|-----------|
|                 | 株 数     | 株 数     | 評 価 額     |
|                 | 千株      | 千株      | 千円        |
| 建設業 (9.0%)      |         |         |           |
| TATERU          | 574.8   | —       | —         |
| 三井住友建設          | 2,684.8 | 7,919.1 | 5,305,797 |
| 大豊建設            | —       | 56      | 204,960   |
| 前田建設工業          | —       | 1,360.3 | 1,504,491 |
| 熊谷組             | 331.5   | 1,944.2 | 6,629,722 |
| OSJホールディングス     | 5,310.9 | 7,423.2 | 2,434,809 |
| 化学 (4.4%)       |         |         |           |
| トクヤマ            | 1,615.7 | 2,400.4 | 6,325,054 |
| ミライアル           | 303.3   | —       | —         |
| 扶桑化学工業          | 92      | 667.2   | 1,482,518 |
| 信越ポリマー          | 469.6   | —       | —         |
| 医薬品 (8.8%)      |         |         |           |
| そーせいグループ        | 208.8   | —       | —         |
| ジーンテクノサイエンス     | —       | 697.2   | 597,500   |
| ペプチドリーム         | 1,030.9 | 1,507.9 | 7,079,590 |
| サンバイオ           | 511.6   | 446.8   | 3,945,244 |
| ヘリオス            | 749     | 2,440.9 | 4,149,530 |
| ガラス・土石製品 (1.0%) |         |         |           |
| MARUWA          | 45.4    | 289.1   | 1,821,330 |
| 非鉄金属 (3.1%)     |         |         |           |
| 古河電気工業          | 941.1   | 1,934.7 | 5,531,307 |
| 金属製品 (4.9%)     |         |         |           |
| SUMCO           | 1,990.6 | 3,930.6 | 5,439,950 |
| 川田テクノロジーズ       | 196.1   | 296.6   | 2,363,902 |
| 東京製鋼            | —       | 951.4   | 1,010,386 |
| 機械 (2.1%)       |         |         |           |
| 日特エンジニアリング      | 618.8   | 772.2   | 1,718,917 |
| ヤマシンフィルタ        | 941     | —       | —         |
| ヒラノテクシード        | 299.9   | —       | —         |
| 平田機工            | 136.8   | —       | —         |
| マルマエ            | 429.7   | 376.6   | 273,035   |

| 銘柄              | 期首(前期末) | 当 期 末   |           |
|-----------------|---------|---------|-----------|
|                 | 株 数     | 株 数     | 評 価 額     |
|                 | 千株      | 千株      | 千円        |
| タツモ             | 492.5   | 477.3   | 366,089   |
| ワイエイシイホールディングス  | 358.4   | —       | —         |
| ローツエ            | 691.8   | 858.7   | 1,351,593 |
| CKD             | 449.1   | —       | —         |
| 電気機器 (25.7%)    |         |         |           |
| アルバック           | 304.8   | 1,134.4 | 3,902,336 |
| アンリツ            | 3,780   | 5,519.2 | 9,217,064 |
| ソニー             | 648.2   | 1,574.6 | 9,219,283 |
| アルプス電気          | 1,237.1 | —       | —         |
| 日本トリム           | 184.4   | 506.4   | 3,002,952 |
| アドバンテスト         | 1,533.7 | —       | —         |
| メガチップス          | 706.8   | 527.3   | 1,370,452 |
| ローム             | 500     | 1,010.3 | 7,274,160 |
| 太陽誘電            | —       | 2,477.5 | 4,556,122 |
| 村田製作所           | —       | 480.9   | 7,718,445 |
| 精密機器 (2.1%)     |         |         |           |
| ノーリツ鋼機          | 1,184.6 | 2,139.8 | 3,828,102 |
| その他製品 (2.7%)    |         |         |           |
| バンダイナムコホールディングス | —       | 376.2   | 1,798,236 |
| 任天堂             | 122.6   | 97      | 3,101,090 |
| 情報・通信業 (14.8%)  |         |         |           |
| 夢の街創造委員会        | 566.8   | 517.5   | 904,590   |
| エイチーム           | 388.8   | —       | —         |
| じげん             | 810.3   | 1,528.8 | 868,358   |
| SHI FT          | 515.2   | 924.2   | 3,474,992 |
| アステリア           | —       | 1,069.2 | 862,844   |
| メディカル・データ・ビジョン  | 607.9   | 1,819.2 | 1,855,584 |
| マイネット           | 332.1   | 408     | 800,496   |
| カナミックネットワーク     | 187.9   | 903.4   | 1,706,522 |
| ラクスル            | —       | 988.5   | 2,831,064 |
| メルカリ            | —       | 1,061.3 | 2,629,901 |
| ソフトバンク・テクノロジー   | 725.4   | 1,324.8 | 2,531,692 |

| 銘柄                | 期首(前期末) | 当 期 末    |           |
|-------------------|---------|----------|-----------|
|                   | 株 数     | 株 数      | 評 価 額     |
|                   | 千株      | 千株       | 千円        |
| 福井コンピュータホールディングス  | 456.2   | —        | —         |
| ミロク情報サービス         | 187.4   | —        | —         |
| ソフトバンクグループ        | 350.6   | 960.3    | 8,158,708 |
| 卸売業 (0.8%)        |         |          |           |
| 内外テック             | —       | 155      | 197,780   |
| ビーバンドットコム         | —       | 139      | 188,623   |
| サンリオ              | —       | 448.3    | 1,049,470 |
| 小売業 (0.7%)        |         |          |           |
| ビジョナリーホールディングス    | —       | 13,627.3 | 1,308,220 |
| 銀行業 (3.3%)        |         |          |           |
| りそなホールディングス       | —       | 10,848.7 | 5,989,567 |
| 証券、商品先物取引業 (6.3%) |         |          |           |
| SBIホールディングス       | —       | 2,677.2  | 6,339,609 |
| マネックスグループ         | —       | 13,112.8 | 5,009,089 |
| 不動産業 (2.5%)       |         |          |           |
| ティーケービー           | 441.7   | 1,000.6  | 4,207,523 |
| APAMAN            | —       | 352.8    | 313,286   |

| 銘柄                    | 期首(前期末)    | 当 期 末   |              |
|-----------------------|------------|---------|--------------|
|                       | 株 数        | 株 数     | 評 価 額        |
|                       | 千株         | 千株      | 千円           |
| サービス業 (7.8%)          |            |         |              |
| LIFULL                | —          | 3,590.7 | 2,782,792    |
| オプトホールディング            | —          | 761.3   | 1,306,390    |
| エムスリー                 | 901.2      | —       | —            |
| アウトソーシング              | 509.3      | —       | —            |
| アドベンチャー               | 75         | 436.4   | 4,032,336    |
| フリークアウト・ホールディングス      | 421.7      | —       | —            |
| アトラエ                  | 59.5       | 293.6   | 692,602      |
| D. A. コンソーシアムホールディングス | 1,016.7    | —       | —            |
| WASHハウス               | 247.4      | —       | —            |
| 東京都競馬                 | 948.1      | 1,761.1 | 5,276,255    |
| 合 計                   | 株 数 ・ 金 額  | 41,425  | 113,304      |
|                       | 銘柄数 < 比率 > | 55      | 56 < 95.9% > |

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。  
(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、株数が表示単位未満の場合は小数で記載しております。  
(注) 株数に一印がある場合は組入れなしを表します。

## ○投資信託財産の構成

(2018年12月14日現在)

| 項 目          | 当 期 末       |       |
|--------------|-------------|-------|
|              | 評 価 額       | 比 率   |
|              | 千円          | %     |
| 株式           | 179,842,274 | 95.4  |
| コール・ローン等、その他 | 8,611,491   | 4.6   |
| 投資信託財産総額     | 188,453,765 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月14日現在)

| 項 目             | 当 期 末           |
|-----------------|-----------------|
|                 | 円               |
| (A) 資産          | 188,453,765,334 |
| コール・ローン等        | 8,609,232,464   |
| 株式(評価額)         | 179,842,274,370 |
| 未取配当金           | 2,258,500       |
| (B) 負債          | 826,765,692     |
| 未払金             | 301,661,280     |
| 未払解約金           | 525,079,647     |
| 未払利息            | 24,765          |
| (C) 純資産総額(A-B)  | 187,626,999,642 |
| 元本              | 56,083,527,783  |
| 次期繰越損益金         | 131,543,471,859 |
| (D) 受益権総口数      | 56,083,527,783口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 33,455円         |

## &lt;注記事項&gt;

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 期首元本額               | 29,629,648,375円 |
| 期中追加設定元本額           | 37,685,598,738円 |
| 期中一部解約元本額           | 11,231,719,330円 |
| 元本の内訳               |                 |
| JPMザ・ジャパン           | 24,986,769,308円 |
| GIMザ・ジャパン(適格機関投資家用) | 464,343,288円    |
| JPMザ・ジャパン(年4回決算型)   | 30,632,415,187円 |

## ○損益の状況

(2017年12月15日～2018年12月14日)

| 項 目              | 当 期              |
|------------------|------------------|
|                  | 円                |
| (A) 配当等収益        | 2,502,731,596    |
| 受取配当金            | 2,507,094,090    |
| 受取利息             | 57               |
| その他収益金           | 4,539            |
| 支払利息             | △ 4,367,090      |
| (B) 有価証券売買損益     | △ 44,864,173,714 |
| 売買益              | 17,635,549,371   |
| 売買損              | △ 62,499,723,085 |
| (C) その他費用等       | △ 965,507        |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 42,362,407,625 |
| (E) 前期繰越損益金      | 88,715,105,286   |
| (F) 追加信託差損益金     | 119,397,352,169  |
| (G) 解約差損益金       | △ 34,206,577,971 |
| (H) 計(D+E+F+G)   | 131,543,471,859  |
| 次期繰越損益金(H)       | 131,543,471,859  |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# 三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）

## 《第６期》決算日2019年３月26日

[計算期間：2018年９月27日～2019年３月26日]

「三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）」は、第６期の決算を行いました。  
ここに、運用状況をご報告申し上げます。

運用会社：三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針 | 日本・小型株・ファンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の小型株式に投資を行います。<br>RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。<br>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。<br>株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 |
| 分 配 方 針 | 経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。                                                                                                                                                                                                                |

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日                   | 基 準 価 額     |        | RUSSELL/NOMURA Small Cap |        | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|-------------------------|-------------|--------|--------------------------|--------|-----------|-----------|
|                         |             | 騰 落 率  | インデックス                   | 騰 落 率  |           |           |
| (期 首)<br>2018年 9 月 26 日 | 円<br>19,050 | %<br>— | 591.08                   | %<br>— | %<br>96.7 | %<br>—    |
| 9 月 末                   | 18,857      | △ 1.0  | 586.61                   | △ 0.8  | 96.9      | —         |
| 10 月 末                  | 16,105      | △15.5  | 525.22                   | △11.1  | 95.7      | —         |
| 11 月 末                  | 16,405      | △13.9  | 540.65                   | △ 8.5  | 96.1      | —         |
| 12 月 末                  | 13,700      | △28.1  | 471.86                   | △20.2  | 96.4      | —         |
| 2019年 1 月 末             | 14,565      | △23.5  | 490.28                   | △17.1  | 97.2      | —         |
| 2 月 末                   | 15,288      | △19.7  | 508.45                   | △14.0  | 97.3      | —         |
| (期 末)<br>2019年 3 月 26 日 | 15,284      | △19.8  | 509.58                   | △13.8  | 98.1      | —         |

(注) 騰落率は期首比。

(注) RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額（時価総額は全て安定持株控除後）の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、時価総額下位約15%の銘柄により構成されています。RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスは、Frank Russell Companyと野村證券株式会社が作成している株価指数で、当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は両社に帰属します。なお、両社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

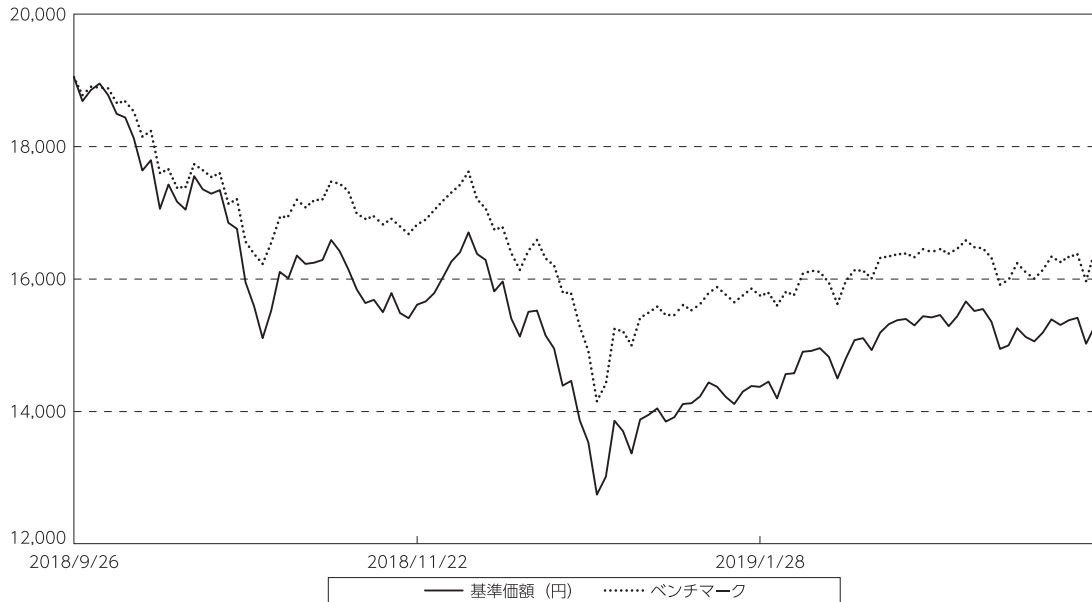
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.8%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－13.8%）を6.0%下回りました。

## 基準価額等の推移



（注）ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

- ・組み入れを行った個別銘柄の株価下落が基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内株式市況

- ・米中間の貿易摩擦が激化したことなどを背景に世界経済の減速懸念が強まったこと、国内企業の2018年度第2四半期決算発表で慎重な業績見通しが相次いだことなどから期首から2018年12月下旬まで下落基調となりました。

その後は世界的な貿易摩擦懸念などの過度な悲観が後退したことや中国の景気対策への期待などから期末まで上昇基調が続きました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

＜三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）＞

- ・日本・小型株・ファンド・マザーファンド受益証券を通じてわが国の小型株式に投資しております。

- ・マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の市況変動の影響を大きく受けました。

## ＜日本・小型株・ファンド・マザーファンド＞

基準価額は期首に比べ19.4%の下落となりました。

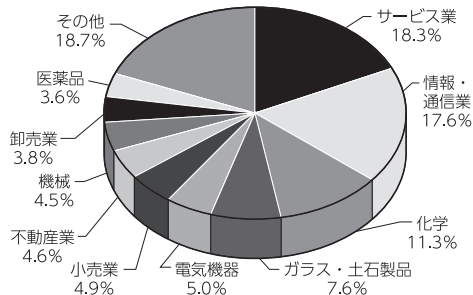
- ・国内小型株式のうち独自の技術やノウハウを有し、中長期的な成長が見込める実力企業などを中心に選別投資を行っています。

組入銘柄数は概ね90～100銘柄程度で推移させました。目標株価への到達もしくは接近、ファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相对比较などを勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では業務管理向けクラウドサービスを展開するチームスピリットや配電盤や制御盤を手掛ける日東工業など30銘柄を新規に組み入れました。また、製鉄向けなどの耐火物を手掛ける黒崎播磨や独立系PR会社のベクトルなど29銘柄を全株売却しました。

(ご参考)

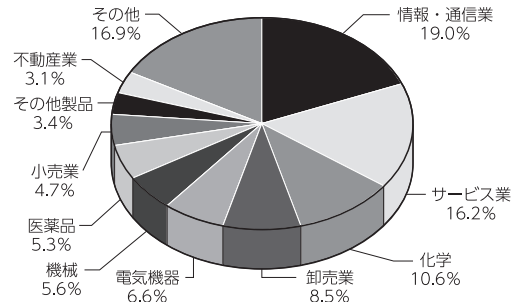
組入上位10業種

期首（2018年9月26日）



(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

期末（2019年3月26日）



●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
 <三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）>

- ・ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－13.8%）を6.0%下回りました。
- ・実質的な運用を行っているマザーファンドにおいてベンチマークを5.6%下回ったことによるものです。

<日本・小型株・ファンド・マザーファンド>

- ・ファンドの騰落率は、ベンチマーク（RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス）の騰落率（－13.8%）を5.6%下回りました。
- ・当期は、セクター内の個別銘柄判断の結果、日本化学工業やシュッピンなどの銘柄選択がマイナスに影響し、ベンチマークを5.6%下回りました。パフォーマンスにプラスに寄与、マイナスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

#### ◎銘柄

- ・レーザーテック：同社の手掛ける半導体マスク欠陥検査装置などに着目し期首より保有しました。半導体メーカーの高水準な投資などにより受注、売上が好調に推移したことなどから株価が上昇し、プラスに寄与しました。

（マイナス要因）

#### ◎銘柄

- ・日本化学工業：リチウムイオン電池用正極材料や電子セラミック材料などの拡大に着目し、期首より保有しました。増収基調は継続するものの、原料価格など製造コスト上昇による収益性低下懸念などにより株価は下落し、マイナスに影響しました。

- ・シュッピン：同社が運営するカメラを中心とした中古品ネット販売ビジネスに着目し、期首より保有しました。カメラ新製品発売前の買い控えや、先行費用増により減益となったことなどから株価が下落し、マイナスに影響しました。なお、期中に全株売却しました。

#### ●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項 目       | 第 6 期                     |
|-----------|---------------------------|
|           | 2018年9月27日～<br>2019年3月26日 |
| 当期分配金     | —                         |
| （対基準価額比率） | —%                        |
| 当期の収益     | —                         |
| 当期の収益以外   | —                         |
| 翌期繰越分配対象額 | 8,588                     |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

<三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）>

### ◎今後の運用方針

- ・今後も日本・小型株・ファンド・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。株式の実質組入比率についても高位を維持する方針です。

<日本・小型株・ファンド・マザーファンド>

### ◎運用環境の見通し

- ・2018年度第3四半期決算は小型株でも全般に厳しい内容となり、業績見通しの下方修正を発表する企業が見受けられたものの、2018年後半の株価の調整局面で業績悪化がある程度織り込まれたため、2019年初からの株価上昇につながったと考えております。
- ・2018年末、東京証券取引所が「市場構造の在り方等の検討に係る意見募集」を公表し、意見募集を行いました。論点には東証2部、マザーズ、ＪＡＳＤＡＱ市場などエントリー市場や東証1部市場の実態、指定替え・市場変更・上場廃止など市場移行・退出の実態について挙げられています。今後の議論次第ではこういった制度の一部が変更される可能性があるため、動向を注視していく所存です。
- ・当面は、貿易摩擦問題や海外の景気動向、鈍化傾向が続く国内企業の業績動向など懸念要因がありますが、本決算発表で企業業績動向を見極めたいと考えております。

## ◎今後の運用方針

- ・主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。
- ・日本の小型株市場は成長力のある企業が増加する一方、各社固有の競争力や戦略等による銘柄間格差は拡大すると判断し、銘柄選別を強化する方針です。
- ・今後の業績見通しに慎重な見方をする企業が多くみられるものの、2018年後半の株価下落によりバリュエーション面では割安感が強まった銘柄も増えていると考えており、中長期的な成長性や競争力などを勘案し、投資判断を行う方針です。また、個別銘柄選別をコアの投資戦略としつつ、マーケット全体の方向性やセクター動向なども注視していく方針です。
- ・日本の小型株市場はいまだ非効率的で、投資家に十分に認知されていない成長企業は多く存在すると考えており、こうした成長企業への投資を継続する方針です。
- ・今後も綿密な企業調査により、独自の技術やノウハウを有し、中長期的な成長性の高い銘柄等を中心に投資機会を探り、パフォーマンスの獲得を図っていく所存です。



## ○１万口当たりの費用明細

(2018年９月27日～2019年３月26日)

| 項 目                   | 当 期     |            | 項 目 の 概 要                                  |
|-----------------------|---------|------------|--------------------------------------------|
|                       | 金 額     | 比 率        |                                            |
| (a) 信 託 報 酬           | 円<br>71 | %<br>0.454 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×<br>(期中の日数÷年間日数)  |
| ( 投 信 会 社 )           | (66)    | (0.427)    | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 0 )   | (0.001)    | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価       |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 4 )   | (0.026)    | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価         |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 13      | 0.085      | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数          |
| ( 株 式 )               | (13)    | (0.085)    | 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料               |
| (c) そ の 他 費 用         | 0       | 0.001      | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数              |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 0 )   | (0.001)    | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用                |
| ( そ の 他 )             | ( 0 )   | (0.000)    | 信託事務の処理等に要するその他諸費用                         |
| 合 計                   | 84      | 0.540      |                                            |
| 期中の平均基準価額は、15,539円です。 |         |            |                                            |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年９月27日～2019年３月26日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄                 | 設 定   |       | 解 約    |        |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|
|                     | 口 数   | 金 額   | 口 数    | 金 額    |
|                     | 千口    | 千円    | 千口     | 千円     |
| 日本・小型株・ファンド・マザーファンド | 1,171 | 6,637 | 10,065 | 56,479 |

## ○株式売買比率

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期                 |
|---------------------|---------------------|
|                     | 日本・小型株・ファンド・マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額       | 10,628,971千円        |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 9,917,398千円         |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 1.07                |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月27日～2019年3月26日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱ＵＦＪ国際 日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）&gt;

該当事項はございません。

&lt;日本・小型株・ファンド・マザーファンド&gt;

| 区 分 | 買付額等<br>A    | うち利害関係人<br>との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等<br>C    | うち利害関係人<br>との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|--------------|---------------------|---------------|--------------|---------------------|---------------|
|     |              |                     |               |              |                     |               |
| 株式  | 百万円<br>5,358 | 百万円<br>918          | %<br>17.1     | 百万円<br>5,270 | 百万円<br>1,031        | %<br>19.6     |

平均保有割合 19.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目              | 当 期     |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 1,682千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 298千円   |
| (B) / (A)        | 17.8%   |

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月26日現在)

## 親投資信託残高

| 銘 柄                 | 期首(前期末)       | 当 期 末         |                 |
|---------------------|---------------|---------------|-----------------|
|                     | 口 数           | 口 数           | 評 価 額           |
| 日本・小型株・ファンド・マザーファンド | 千口<br>348,486 | 千口<br>339,591 | 千円<br>1,903,070 |

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月26日現在)

| 項 目                 | 当 期 末           |           |
|---------------------|-----------------|-----------|
|                     | 評 価 額           | 比 率       |
| 日本・小型株・ファンド・マザーファンド | 千円<br>1,903,070 | %<br>99.3 |
| コール・ローン等、その他        | 13,633          | 0.7       |
| 投資信託財産総額            | 1,916,703       | 100.0     |

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年3月26日現在）

| 項 目                      | 当 期 末          |
|--------------------------|----------------|
|                          | 円              |
| (A) 資産                   | 1,916,703,691  |
| コール・ローン等                 | 13,524,699     |
| 日本・小型株・ファンド・マザーファンド(評価額) | 1,903,070,289  |
| 未収入金                     | 108,703        |
| (B) 負債                   | 9,015,967      |
| 未払信託報酬                   | 8,988,504      |
| 未払利息                     | 24             |
| その他未払費用                  | 27,439         |
| (C) 純資産総額(A－B)           | 1,907,687,724  |
| 元本                       | 1,248,151,444  |
| 次期繰越損益金                  | 659,536,280    |
| (D) 受益権総口数               | 1,248,151,444口 |
| 1万口当たり基準価額(C／D)          | 15,284円        |

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,275,611,305円  
 期中追加設定元本額 3,508,814円  
 期中一部解約元本額 30,968,675円  
 また、1口当たり純資産額は、期末15,284円です。

## ②分配金の計算過程

| 項 目                       | 2018年9月27日～<br>2019年3月26日 |
|---------------------------|---------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額              | －円                        |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | －円                        |
| 収益調整金額                    | 104,133,793円              |
| 分配準備積立金額                  | 967,787,474円              |
| 当ファンドの分配対象収益額             | 1,071,921,267円            |
| 1万口当たり収益分配対象額             | 8,588円                    |
| 1万口当たり分配金額                | －円                        |
| 収益分配金金額                   | －円                        |

## ○損益の状況（2018年9月27日～2019年3月26日）

| 項 目              | 当 期            |
|------------------|----------------|
|                  | 円              |
| (A) 配当等収益        | △ 2,637        |
| 受取利息             | 4              |
| 支払利息             | △ 2,641        |
| (B) 有価証券売買損益     | △459,676,543   |
| 売買益              | 11,566,119     |
| 売買損              | △471,242,662   |
| (C) 信託報酬等        | △ 9,016,017    |
| (D) 当期損益金(A＋B＋C) | △468,695,197   |
| (E) 前期繰越損益金      | 967,787,474    |
| (F) 追加信託差損益金     | 160,444,003    |
| (配当等相当額)         | ( 104,132,310) |
| (売買損益相当額)        | ( 56,311,693)  |
| (G) 計(D＋E＋F)     | 659,536,280    |
| (H) 収益分配金        | 0              |
| 次期繰越損益金(G＋H)     | 659,536,280    |
| 追加信託差損益金         | 160,444,003    |
| (配当等相当額)         | ( 104,133,793) |
| (売買損益相当額)        | ( 56,310,210)  |
| 分配準備積立金          | 967,787,474    |
| 繰越損益金            | △468,695,197   |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 日本・小型株・ファンド・マザーファンド

## 《第37期》決算日2018年12月10日

[計算期間：2018年6月12日～2018年12月10日]

「日本・小型株・ファンド・マザーファンド」は、12月10日に第37期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第37期の運用状況をご報告申し上げます。

|             |                                                                                                                                                                                                 |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運 用 方 針     | 中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 |
| 主 要 運 用 対 象 | わが国の株式を主要投資対象とします。                                                                                                                                                                              |
| 主 な 組 入 制 限 | 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。                                                                                                                                                              |

## ○最近5期の運用実績

| 決 算 期            | 基 準    |         | RUSSELL/NOMURA Small Cap |           | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 | 純 資 産 額 |
|------------------|--------|---------|--------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|
|                  | 期 騰 落  | 価 額 中 率 | インデックス                   | 期 騰 落 中 率 |           |           |         |
|                  | 円      | %       |                          | %         | %         | %         | 百万円     |
| 33期(2016年12月12日) | 40,265 | 1.8     | 465.10                   | 11.6      | 96.6      | —         | 6,998   |
| 34期(2017年6月12日)  | 52,853 | 31.3    | 504.62                   | 8.5       | 98.2      | —         | 7,200   |
| 35期(2017年12月11日) | 64,336 | 21.7    | 588.29                   | 16.6      | 97.8      | —         | 8,537   |
| 36期(2018年6月11日)  | 71,110 | 10.5    | 595.29                   | 1.2       | 97.1      | —         | 11,569  |
| 37期(2018年12月10日) | 56,322 | △20.8   | 508.52                   | △14.6     | 96.1      | —         | 10,030  |

(注) RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。  
RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額（時価総額は全て安定持株控除後）の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、時価総額下位約15%の銘柄により構成されています。  
RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスは、Russell Investmentsと野村證券株式会社が作成している株価指数で、当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はRussell Investmentsと野村證券株式会社に帰属します。また、Russell Investmentsと野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日                | 基 準    | 価 額   | RUSSELL/NOMURA Small Cap |       | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|----------------------|--------|-------|--------------------------|-------|-----------|-----------|
|                      |        | 騰 落 率 | インデックス                   | 騰 落 率 |           |           |
| (期 首)<br>2018年6月11日  | 円      | %     |                          | %     | %         | %         |
|                      | 71,110 | —     | 595.29                   | —     | 97.1      | —         |
| 6 月 末                | 68,961 | △ 3.0 | 576.56                   | △ 3.1 | 95.6      | —         |
| 7 月 末                | 67,424 | △ 5.2 | 577.61                   | △ 3.0 | 97.9      | —         |
| 8 月 末                | 67,150 | △ 5.6 | 566.42                   | △ 4.8 | 96.2      | —         |
| 9 月 末                | 68,867 | △ 3.2 | 586.61                   | △ 1.5 | 97.1      | —         |
| 10 月 末               | 58,844 | △17.2 | 525.22                   | △11.8 | 95.9      | —         |
| 11 月 末               | 59,987 | △15.6 | 540.65                   | △ 9.2 | 96.3      | —         |
| (期 末)<br>2018年12月10日 |        |       |                          |       |           |           |
|                      | 56,322 | △20.8 | 508.52                   | △14.6 | 96.1      | —         |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

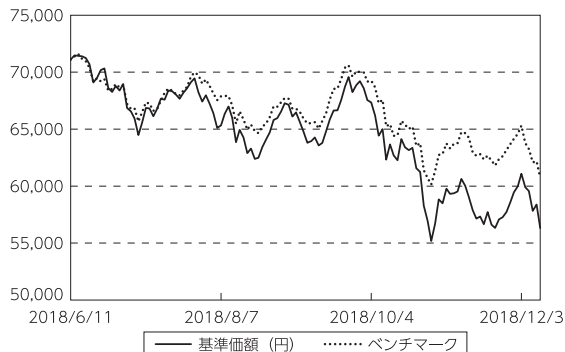
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ20.8%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマーク（RUSSELL/NOMURA Small Cap インデックス）の騰落率（－14.6%）を6.2%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎国内株式市況

- ・期首から2018年9月下旬にかけては、世界的な貿易摩擦懸念が強まる一方、堅調な企業業績などから小型株式市況は一進一退の動きが続きました。
- ・その後は米中間の貿易戦争が激化したことなどを背景に世界経済の減速懸念が強まったこと、国内企業の2018年度第2四半期決算発表で慎重な業績見通しが相次いだことなどから期末まで下落基調となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・国内小型株式のうち独自の技術やノウハウを有し、中長期的な成長が見込める企業などを中心に選別投資を行いました。
- ・組入銘柄数は概ね90～100銘柄程度で推移させました。目標株価への到達もしくは接近、ファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相对比较等を勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では、土木資材製造などを手掛ける前田工織やシステムインテグレーターの日本ユニシスなど、29銘柄を新規に組み入れました。また、公開買付けが発表された

D. A. コンソーシアムホールディングスやインターネットインフラ事業などを手掛けるGMOインターネットなど27銘柄を全株売却しました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
- ・ファンドの騰落率は、ベンチマーク（RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス）の騰落率（-14.6%）を6.2%下回りました。
- ・当期は、セクター内の個別銘柄判断の結果、日本化学工業や山洋電気などの銘柄選択がマイナスに影響し、ベンチマークを6.2%下回りました。パフォーマンスに寄与、影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

#### ◎銘柄

- ・D. A. コンソーシアムホールディングス：同社グループで手掛けるインターネット広告の拡大に着目し、期首より保有しました。インターネット広告市場は広告市場全体を上回る成長となり、同社業績も恩恵を受けたほか、2018年8月には同社に対する公開買付けが発表されたことなどから株価が上昇しプラスに寄与しました。なお、期中に全株売却しました。

（マイナス要因）

#### ◎銘柄

- ・日本化学工業：リチウムイオン電池用正極材料や電子セラミック材料などの拡大に着目し、期中より保有しました。足下の増益基調は続いていたものの、年間の慎重な業績見通しが据え置かれたことなどから株価は下落し、マイナスに影響しました。
- ・山洋電気：主に省力化、自動化投資に使われる同社のサーボシステムに着目し期首より保有しました。増収増益が続く一方、受注には減速感がみられたことなどから株価は下落し、マイナスに影響しました。

### ◎今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

- ・2018年度第2四半期決算では、今後の業績見通しについて国内、海外のマクロ環境の不透明感などから慎重な見方をする企業が多くみられ、2018年10月以降の株価下落はこの見方を反映したものと考えております。
- ・足下では米中の貿易摩擦に関する懸念や英国の欧州連合（EU）離脱に関する動き、中国景気減速懸念など海外に端を発する不安定要素が依然として存在しており、今後の動向に注意が必要だと考えております。
- ・こういった不安定要因が重なることから小型株式市場も当面は軟調な推移を想定しておりますが、個別企業の堅調な業績推移が確認できれば再度上昇トレンドに回帰するものと考えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・今後も、主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。
- ・日本の小型株市場は成長力のある企業が増加する一方、各社固有の競争力や戦略等による銘柄間格差は拡大すると判断し、銘柄選別を強化する方針です。
- ・今後の業績見通しに慎重な見方をする企業が多くみられたものの、足下の株価下落によりバリュエーション面では割安感が強まった銘柄も増えていると考えており、中長期的な成長性や競争力などを勘案し、投資判断を行う方針です。また、個別銘柄選別をコアの投資戦略としつつ、マーケット全体の方向性やセクター動向なども注視していく方針です。
- ・ここ数年の株価上昇において、小型株の上昇は大型株を上回るものでしたが、今年に入ってから調整局面が続いております。しかしながら、日本の小型株市場はいまだ非効率的で、投資家に十分に認知されていない成長企業は多く存在すると考えており、こうした成長企業への投資

を継続する方針です。

- ・ 今後も個別企業の業績動向に焦点をあてた基本戦略である「ボトムアップアプローチ」を継続し、企業訪問など直接コンタクトを積極化していく方針です。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年 6 月12日～2018年12月10日)

| 項 目                          | 当 期             |                       | 項 目 の 概 要                                                         |
|------------------------------|-----------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------|
|                              | 金 額             | 比 率                   |                                                                   |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>( 株 式 ) | 円<br>53<br>(53) | %<br>0.083<br>(0.083) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 |
| (b) そ の 他 費 用<br>( そ の 他 )   | 0<br>( 0 )      | 0.000<br>(0.000)      | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br>信託事務の処理等に要するその他諸費用               |
| 合 計                          | 53              | 0.083                 |                                                                   |
| 期中の平均基準価額は、64,352円です。        |                 |                       |                                                                   |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2018年 6 月12日～2018年12月10日)

## 株式

|   |    | 買 付     |           | 売 付   |           |
|---|----|---------|-----------|-------|-----------|
|   |    | 株 数     | 金 額       | 株 数   | 金 額       |
| 国 | 上場 | 千株      | 千円        | 千株    | 千円        |
| 内 |    | 2,545   | 6,423,691 | 2,529 | 5,394,906 |
|   |    | (△ 208) | ( ー )     |       |           |

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○ 株式売買比率

(2018年 6 月12日～2018年12月10日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期          |
|---------------------|--------------|
| (a) 期中の株式売買金額       | 11,818,598千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 11,030,947千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 1.07         |

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年6月12日～2018年12月10日)

## 利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等<br>A | うち利害関係人<br>との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等<br>C | うち利害関係人<br>との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|-----------|---------------------|---------------|-----------|---------------------|---------------|
|     | 百万円       | 百万円                 | %             | 百万円       | 百万円                 | %             |
| 株式  | 6,423     | 1,119               | 17.4          | 5,394     | 1,301               | 24.1          |

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目              | 当 期     |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 9,335千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 1,912千円 |
| (B) / (A)        | 20.5%   |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年12月10日現在)

## 国内株式

| 銘柄                     | 期首(前期末) | 当 期 末 |         |
|------------------------|---------|-------|---------|
|                        | 株 数     | 株 数   | 評 価 額   |
|                        | 千株      | 千株    | 千円      |
| <b>水産・農林業 (1.1%)</b>   |         |       |         |
| サカタのタネ                 | 27.9    | 27.9  | 107,554 |
| <b>建設業 (1.8%)</b>      |         |       |         |
| 前田建設工業                 | 43.7    | 96.3  | 106,218 |
| 九電工                    | 48.2    | 12    | 48,180  |
| 中外炉工業                  | 32.4    | 8     | 17,920  |
| <b>食料品 (2.0%)</b>      |         |       |         |
| 不二製油グループ本社             | 14.3    | 14.3  | 51,766  |
| アリアケジャパン               | 12.8    | 14.8  | 137,640 |
| <b>繊維製品 (1.2%)</b>     |         |       |         |
| セーレン                   | 87      | 67    | 118,456 |
| <b>化学 (9.5%)</b>       |         |       |         |
| 日本化学工業                 | —       | 59.9  | 146,455 |
| 住友ベークライト               | 307     | 25.2  | 96,012  |
| 旭有機材                   | —       | 64.9  | 105,267 |
| ウルトラファブリックス・ホールディングス   | —       | 39.5  | 95,076  |
| トリケミカル研究所              | 11.1    | 11.1  | 53,113  |
| 第一工業製薬                 | 153     | —     | —       |
| ファンケル                  | 11.3    | —     | —       |
| ハーバー研究所                | —       | 9.8   | 79,184  |
| エステー                   | 25.3    | —     | —       |
| タカラバイオ                 | 70.6    | 81    | 220,806 |
| OATアグリオ                | 17.2    | —     | —       |
| クミアイ化学工業               | —       | 185.1 | 123,276 |
| <b>医薬品 (3.9%)</b>      |         |       |         |
| JCRファーマ                | 16.1    | 9.2   | 49,220  |
| ベプチドリーム                | 23.6    | 50.8  | 244,602 |
| ヘリオス                   | 31.7    | 45.9  | 85,833  |
| <b>ゴム製品 (1.0%)</b>     |         |       |         |
| 相模ゴム工業                 | —       | 43.7  | 95,571  |
| <b>ガラス・土石製品 (5.8%)</b> |         |       |         |
| オハラ                    | —       | 54.7  | 116,182 |
| 東洋炭素                   | 44.4    | 34.9  | 87,250  |
| 黒崎播磨                   | —       | 25.4  | 171,196 |

| 銘柄                          | 期首(前期末) | 当 期 末 |         |
|-----------------------------|---------|-------|---------|
|                             | 株 数     | 株 数   | 評 価 額   |
|                             | 千株      | 千株    | 千円      |
| ニチアス                        | 77      | 38.5  | 78,001  |
| ニチハ                         | 37.2    | 37.2  | 106,801 |
| <b>金属製品 (1.7%)</b>          |         |       |         |
| トーカロ                        | 123.6   | 180.1 | 163,530 |
| R S T e c h n o l o g i e s | 26.4    | —     | —       |
| 東プレ                         | 43.9    | —     | —       |
| <b>機械 (7.3%)</b>            |         |       |         |
| タクマ                         | —       | 87.9  | 130,619 |
| 小田原エンジニアリング                 | 20      | —     | —       |
| マルマエ                        | 46.5    | —     | —       |
| レオン自動機                      | 62.5    | 111.8 | 182,345 |
| ホソカワミクロン                    | 15.5    | —     | —       |
| 技研製作所                       | 42.3    | 40.9  | 156,851 |
| TOWA                        | 99.3    | —     | —       |
| 三精テクノロジーズ                   | —       | 54.5  | 98,754  |
| 酒井重工業                       | 10.6    | 10.6  | 26,669  |
| 竹内製作所                       | 42.7    | 56.5  | 108,819 |
| <b>電気機器 (3.8%)</b>          |         |       |         |
| 山洋電気                        | 24.6    | 11.3  | 44,013  |
| サンケン電気                      | 70      | 14    | 31,122  |
| エスベック                       | 45.8    | —     | —       |
| アパールデータ                     | 18.6    | —     | —       |
| レーザーテック                     | 58.5    | 66.6  | 216,117 |
| 三井ハイテック                     | 36.4    | —     | —       |
| 太陽誘電                        | 94      | 39.9  | 77,007  |
| 市光工業                        | 35.4    | —     | —       |
| <b>輸送用機器 (1.9%)</b>         |         |       |         |
| 武蔵精密工業                      | 27.9    | 25.8  | 42,879  |
| エフ・シー・シー                    | 36.6    | 54.2  | 142,058 |
| <b>精密機器 (2.2%)</b>          |         |       |         |
| 東京精密                        | 25.2    | 52.1  | 157,081 |
| ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング         | 118.9   | 54.9  | 52,539  |
| <b>その他製品 (3.5%)</b>         |         |       |         |
| 前田工織                        | —       | 78.5  | 211,400 |

| 銘柄                  | 期首(前期末) | 当 期 末 |         |
|---------------------|---------|-------|---------|
|                     | 株 数     | 株 数   | 評 価 額   |
|                     | 千株      | 千株    | 千円      |
| フルヤ金属               | 22.6    | 7     | 37,730  |
| SHOEI               | 21.7    | 21.7  | 89,946  |
| 電気・ガス業 (0.7%)       |         |       |         |
| レノバ                 | —       | 64.1  | 62,433  |
| 陸運業 (0.7%)          |         |       |         |
| 丸和運輸機関              | 21.5    | 21.5  | 66,005  |
| 情報・通信業 (16.3%)      |         |       |         |
| システナ                | —       | 90.7  | 138,317 |
| 夢の街創造委員会            | 28.5    | 28.5  | 49,960  |
| ブレインパッド             | —       | 9.1   | 58,968  |
| ポルトウウィン・ピットクルーホールディ | —       | 42.2  | 90,054  |
| テクマトリックス            | 64.5    | 52.4  | 97,883  |
| GMOペイメントゲートウェイ      | 5.1     | 12.8  | 85,248  |
| ラクス                 | 33.8    | 33.8  | 67,566  |
| オーブンドア              | —       | 42.3  | 127,534 |
| マクロミル               | 21      | —     | —       |
| ラクスル                | —       | 31.1  | 93,300  |
| チームスピリット            | —       | 31    | 95,945  |
| 電通国際情報サービス          | —       | 25.1  | 84,963  |
| デジタルガレージ            | 17.6    | —     | —       |
| 日本ユニシス              | —       | 65    | 186,550 |
| ビジョン                | 76.5    | 47.6  | 220,388 |
| GMOインターネット          | 100.3   | —     | —       |
| 学研ホールディングス          | 8       | 8     | 34,840  |
| ゼンリン                | 19.8    | 21.1  | 56,695  |
| 富士ソフト               | —       | 18.1  | 84,255  |
| 卸売業 (6.4%)          |         |       |         |
| ダイワボウホールディングス       | —       | 30.4  | 164,768 |
| ラクト・ジャパン            | —       | 19.6  | 161,504 |
| シップヘルスケアホールディングス    | 26.3    | 35.3  | 151,084 |
| 日本ライフライン            | 84.8    | 28.9  | 45,604  |
| 日本エム・ディ・エム          | —       | 75.7  | 93,792  |
| 小売業 (7.8%)          |         |       |         |
| Hamee               | —       | 79.9  | 150,691 |
| ウエルシアホールディングス       | —       | 20.1  | 116,178 |
| シュッピン               | 157.6   | 146.7 | 148,313 |
| ネクステージ              | 134.9   | 136.1 | 162,367 |
| ゴルフダイジェスト・オンライン     | 48.2    | 48.2  | 37,065  |
| ケーズホールディングス         | 99.4    | 121.6 | 138,137 |

| 銘柄                    | 期首(前期末)   | 当 期 末 |         |
|-----------------------|-----------|-------|---------|
|                       | 株 数       | 株 数   | 評 価 額   |
|                       | 千株        | 千株    | 千円      |
| 証券・商品先物取引業 (1.8%)     |           |       |         |
| ジャパンインベストメントアドバイザー    | 62        | 47.8  | 168,495 |
| その他金融業 (1.2%)         |           |       |         |
| アルヒ                   | —         | 37.1  | 72,419  |
| プレミアムグループ             | —         | 10.3  | 44,135  |
| 不動産業 (4.1%)           |           |       |         |
| いちご                   | 224.4     | 224.4 | 80,110  |
| オープンハウス               | 33.4      | 37.2  | 149,916 |
| エリアリンク                | 39.9      | 39.9  | 56,179  |
| カチタス                  | 35.9      | 35.9  | 106,910 |
| サービス業 (14.3%)         |           |       |         |
| 日本M&Aセンター             | 29.6      | 29.6  | 79,712  |
| U Tグループ               | 50.6      | 33.7  | 71,983  |
| タケエイ                  | 32.5      | —     | —       |
| FRONTEO               | 46.7      | —     | —       |
| リンクアンドモチベーション         | 34.6      | 34.6  | 32,835  |
| エス・エム・エス              | 11        | 50.5  | 88,728  |
| リニカル                  | 57.8      | 57.8  | 91,035  |
| ディップ                  | 18.9      | —     | —       |
| 総医研ホールディングス           | 74.3      | —     | —       |
| ツクイ                   | 27.4      | 51.4  | 48,830  |
| ジャパンバストレスキューシステム      | 45.1      | 48.6  | 72,316  |
| ライク                   | 32.2      | —     | —       |
| イオンファンタジー             | 7.5       | —     | —       |
| クリーク・アンド・リバー社         | 60.3      | —     | —       |
| エン・ジャパン               | 24.4      | 24.4  | 102,724 |
| テクノプロ・ホールディングス        | —         | 21.6  | 111,240 |
| ジャパンマテリアル             | 171.4     | 133.6 | 148,028 |
| ベクトル                  | 101.7     | 54.9  | 92,177  |
| アトラエ                  | 24.7      | —     | —       |
| ソラスト                  | 16.5      | 66.3  | 88,908  |
| ペイカレント・コンサルティング       | 42.5      | 21.1  | 54,332  |
| D. A. コンソーシアムホールディングス | 126       | —     | —       |
| 東京都競馬                 | 19.4      | —     | —       |
| カナモト                  | 29.6      | 22.8  | 72,276  |
| 乃村工藝社                 | 45.5      | 59.6  | 179,694 |
| 船井総研ホールディングス          | 35.7      | 22.7  | 41,450  |
| 合 計                   | 株 数 ・ 金 額 | 4,770 | 4,578   |
|                       | 銘柄数<比率>   | 92    | 94      |
|                       |           |       | <96.1%> |

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2018年12月10日現在)

| 項 目          | 当 期 末           |           |
|--------------|-----------------|-----------|
|              | 評 価 額           | 比 率       |
| 株式           | 千円<br>9,635,924 | %<br>95.7 |
| コール・ローン等、その他 | 438,077         | 4.3       |
| 投資信託財産総額     | 10,074,001      | 100.0     |

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月10日現在)

| 項 目             | 当 期 末          |
|-----------------|----------------|
|                 | 円              |
| (A) 資産          | 10,074,001,961 |
| コール・ローン等        | 401,731,816    |
| 株式(評価額)         | 9,635,924,000  |
| 未収入金            | 21,964,725     |
| 未収配当金           | 14,381,420     |
| (B) 負債          | 43,341,076     |
| 未払金             | 43,329,742     |
| 未払解約金           | 9,598          |
| 未払利息            | 803            |
| その他未払費用         | 933            |
| (C) 純資産総額(A－B)  | 10,030,660,885 |
| 元本              | 1,780,959,024  |
| 次期繰越損益金         | 8,249,701,861  |
| (D) 受益権総口数      | 1,780,959,024口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 56,322円        |

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,627,005,908円  
期中追加設定元本額 242,632,077円  
期中一部解約元本額 88,678,961円  
また、1口当たり純資産額は、期末5,6322円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

|                                     |                |
|-------------------------------------|----------------|
| 三菱UFJ ジャパン・アクティブ・プラス                | 40,375,397円    |
| 国内株式セレクション(ラップ向け)                   | 78,718,433円    |
| 三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)              | 1,686,175円     |
| 三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)            | 11,760,948円    |
| 日本・小型株・ファンド                         | 865,562,707円   |
| 日本株スタイル・ミックス・ファンド                   | 29,248,868円    |
| 三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF(適格機関投資家限定) | 4,617,447円     |
| 三菱UFJ 国際 日本・小型株・ファンド(適格機関投資家用)      | 348,183,350円   |
| <DC>日本株スタイル・ミックス・ファンド               | 400,805,699円   |
| 合計                                  | 1,780,959,024円 |

## ○損益の状況

(2018年6月12日～2018年12月10日)

| 項 目              | 当 期            |
|------------------|----------------|
|                  | 円              |
| (A) 配当等収益        | 52,644,852     |
| 受取配当金            | 52,777,450     |
| 受取利息             | 519            |
| その他収益金           | 2,753          |
| 支払利息             | △ 135,870      |
| (B) 有価証券売買損益     | △2,628,616,833 |
| 売買益              | 606,035,313    |
| 売買損              | △3,234,652,146 |
| (C) 保管費用等        | △ 933          |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △2,575,972,914 |
| (E) 前期繰越損益金      | 9,942,665,359  |
| (F) 追加信託差損益金     | 1,363,095,061  |
| (G) 解約差損益金       | △ 480,085,645  |
| (H) 計(D+E+F+G)   | 8,249,701,861  |
| 次期繰越損益金(H)       | 8,249,701,861  |

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。